

## 2002年度 工学部情報画像工学科Aコース 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TH001001	情報画像工学セミナー	2.0	1年前期月曜 5限	伊藤 秀男	情画 10
TH003001	画像工学概論	2.0	1年後期火曜 2限	大野 隆司 <sup>他</sup>	情画 10
TH003002	画像工学概論	2.0	1年後期火曜 5限	大野 隆司 <sup>他</sup>	情画 11
TH123001	情報と社会	2.0	1年後期火曜 2限	蜂屋 弘之	情画 11
TH123002	情報と社会	2.0	1年後期火曜 5限	蜂屋 弘之	情画 12
TH004001	情報数学 1	2.0	2年前期月曜 1限	井宮 淳	情画 12
TH114001	プログラムの設計と実現 I	2.0	2年前期木曜 2限	今泉 貴史	情画 13
TH114002	プログラムの設計と実現 I	2.0	2年前期木曜 5限	今泉 貴史	情画 13
TH115001	プログラムの設計と実現 II	2.0	2年前期金曜 2限	今泉 貴史 <sup>他</sup>	情画 14
TH115002	プログラムの設計と実現 II	2.0	2年前期金曜 3限	今泉 貴史 <sup>他</sup>	情画 14
TH115003	プログラムの設計と実現 II	2.0	2年前期金曜 5限	今泉 貴史 <sup>他</sup>	情画 15
TH007001	画像工学各論	2.0	2年後期水曜 2限	北村 孝司	情画 15
TH007002	画像工学各論	2.0	2年後期水曜 2限	北村 孝司	情画 16
TH008001	情報数学 2	2.0	2年後期火曜 2限	松葉 育雄	情画 16
TH009001	プログラム言語の構造	2.0	3年後期火曜 5限	今泉 貴史	情画 17
TH010001	算法の設計と解析	2.0	2年後期金曜 1限	井宮 淳	情画 17
TH011001	数値計算の理論と実際	2.0	3年前期月曜 1限	(河村 哲也)	情画 18
TH012001	計算機システム序論	2.0	2年後期水曜 4限	伊藤 秀男	情画 18
TH013001	回路理論 1	2.0	2年後期火曜 4限	呂 建明	情画 19
TH014001	知識工学	2.0	2年後期火曜 3限	市川 薫	情画 19
TH015001	画像情報計測	2.0	2年後期月曜 4限	三宅 洋一	情画 20
TH016001	情報工学実験 1	2.0	2年後期金曜 3,4,5 限	情報画像工学科各 教官	情画 20
TH017001	オートマトン理論	2.0	3年前期火曜 5限	今泉 貴史 <sup>他</sup>	情画 20
TH018001	オペレーティング・システム	2.0	3年後期月曜 3限	北神 正人	情画 21
TH019001	情報理論	2.0	3年前期火曜 4限	須鎗 弘樹	情画 21
TH020001	情報画像技術史	2.0	3年前期集中	(桑山 哲郎)	情画 22
TH021001	計算機ハードウェア	2.0	3年前期水曜 3限	伊藤 秀男	情画 22
TH022001	線形システム理論	2.0	3年前期水曜 2限	谷萩 隆嗣	情画 23
TH023001	回路理論 2	2.0	3年前期月曜 3,4 限隔週 2,4	蜂屋 弘之	情画 23
TH024001	ヒューマンインターフェース	2.0	3年前期火曜 3限	市川 薫	情画 24
TH025001	パターン認識	2.0	3年前期火曜 2限	大沼 一彦	情画 24
TH027001	情報工学実験 2	2.0	3年前期木曜 2,3,4 限	情報画像工学科各 教官	情画 25
TH028001	多変量解析	2.0	3年後期月曜 1限	羽石 秀昭	情画 25
TH029001	データベース	2.0	3年後期水曜 5限	(梶原 康司)	情画 26
TH030001	計算機機構設計論	2.0	3年後期金曜 2限	北神 正人	情画 26
TH031001	グラフとネットワーク	2.0	3年後期金曜 4限	井宮 淳	情画 27
TH032001	デジタル信号処理	2.0	3年後期水曜 3限	谷萩 隆嗣	情画 27
TH033001	生体情報処理	2.0	3年後期火曜 3,4 限	(岡本 良夫)	情画 28
TH035001	情報工学実験 3	2.0	3年後期木曜 2,3,4 限	情報画像工学科各 教官	情画 28
TH036001	心理物理学	2.0	4年前期木曜 2限	(坂田 勝亮)	情画 29
TH038001	ソフトウェア設計論	2.0	3,4年前期水曜 4,5 限	(古宮 誠一)	情画 29
TH042001	画像工学演習	2.0	2年後期木曜 4限	小林 裕幸	情画 30
TH042002	画像工学演習	2.0	2年後期木曜 4限	青木 直和	情画 30
TH042003	画像工学演習	2.0	2年後期木曜 4限	岩崎 賢太郎	情画 31
TH042004	画像工学演習	2.0	2年後期木曜 4限	杉浦 恪也	情画 31
TH043001	画像基礎物理	2.0	2年後期水曜 1限	(志村 努)	情画 32
TH045001	画像計測技術	2.0	3年後期金曜 3限	(鈴木 武臣)	情画 32

## 2002年度 工学部情報画像工学科Aコース シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TH046001	写真システム基礎論	2.0	3年前期木曜1限	小林 裕幸	情画 33
TH047001	画像電子工学	2.0	3年前期月曜2限	長谷川 朗	情画 33
TH048001	レーザー工学	2.0	3年後期水曜2限	立田 光廣	情画 34
TH049001	画像光エレクトロニクス	2.0	3年後期水曜4限	尾松 孝茂	情画 34
TH050001	視覚工学概論 I	2.0	3年前期月曜3限	塩入 諭	情画 35
TH051001	視覚工学概論 II	2.0	3年後期水曜1限	矢口 博久	情画 35
TH052001	結像光学基礎	2.0	3年前期火曜1限	本田 捷夫	情画 35
TH053001	光工学	2.0	3年後期金曜2限	羽石 秀昭	情画 36
TH055101	固体物性論	2.0	3年前期木曜2限	日野 照純	情画 36
TH056001	デジタル画像設計論	2.0	3年前期金曜4限	小寺 宏曄	情画 37
TH058001	画像システム工学演習 I	2.0	3年前期火曜2限	尾松 孝茂	情画 37
TH059001	画像システム工学演習 II	2.0	3年後期月曜2限	小寺 宏曄	情画 38
TH060001	画像システム工学実験 I	3.0	2年後期火曜 3,4,5 限	矢口 博久	情画 38
TH061001	画像システム工学実験 II	3.0	3年前期火曜 3,4,5 限	矢口 博久	情画 38
TH061201	画像システム工学実験 III	4.0		矢口 博久	情画 39
TH065001	色彩工学	2.0	3年後期木曜3限	(大田 登)	情画 39
TH066201	画像解析	2.0	3年後期金曜4限	(犬井 正男)	情画 39
TH067001	画像複製論	2.0	3年後期金曜5限	(洪 博哲)	情画 40
TH069001	リモートセンシング工学	2.0	4年前期木曜3限	竹内 延夫	情画 40
TH070001	画像電子機器工学	2.0	3年前期木曜5限	(小町 祐史)	情画 40
TH071001	画像システム設計論	2.0	3年後期水曜5限	(湯山 一郎)	情画 41
TH074101	基礎物理化学 I	2.0	2年後期月曜3限	(平田 光男)	情画 41
TH074201	基礎物理化学 II	2.0	3年前期金曜1限	小林 裕幸	情画 42
TH075001	基礎光化学	2.0	3年前期金曜2限	森田 浩	情画 42
TH076001	基礎界面化学	2.0	3年前期木曜3限	(古澤 邦夫)	情画 43
TH078101	画像記録材料	2.0	3年後期火曜2限	小林 範久	情画 43
TH079001	写真材料学	2.0	3年後期火曜4限	大野 隆司	情画 44
TH080001	画像物理化学	2.0	3年後期火曜1限	久下 謙一	情画 44
TH081001	写真化学	2.0	3年前期月曜1限	大川 祐輔	情画 45
TH082001	電子イメージング工学	2.0	3年前期水曜1限	北村 孝司	情画 45
TH083001	界面電子プロセス	2.0	3年前期金曜5限	星野 勝義	情画 46
TH085001	画像高分子物性論	2.0	3年後期木曜1限	小関 健一	情画 46
TH087001	分子素子基礎論	2.0	3年後期金曜2限	森田 浩	情画 47
TH088001	光機能材料	2.0	3年前期月曜4限	山岡 亞夫	情画 47
TH089001	応用光化学	2.0	3年後期木曜2限	高原 茂	情画 48
TH091001	画像材料工学演習 I	2.0	3年前期水曜2限	小関 健一	情画 48
TH092001	画像材料工学演習 II	2.0	3年後期月曜2限	小関 健一	情画 49
TH093001	画像材料工学実験 I	3.0	2年後期水曜 3,4,5 限	森田 浩	情画 49
TH094001	画像材料工学実験 II	3.0	3年前期水曜 3,4,5 限	森田 浩	情画 50
TH095201				森田 浩	情画 50
TH095001	銀塩感光材料	2.0	4年前期木曜4限	(占部 茂治)	情画 51
TH097001	広報媒体論	2.0	4年前期月曜5限	(柴田 亮介)	情画 51
TH098101	印刷材料学	2.0	3年前期木曜5限	(磯貝 明)	情画 51
TH100001	工業英語演習	2.0	2年後期金曜5限	(Yuen, Michael)	情画 52
TH102001	基礎有機化学	2.0	2年後期月曜2限	(岩田 正彰)	情画 52
TH106001	メディアアート	2.0	3年後期水曜3限	(串山 久美子)	情画 53
TH107001	符号理論	2.0	3年後期火曜2限	須鎗 弘樹	情画 53
TH108001	生体情報システム論	2.0	3年後期水曜4限	松葉 育雄	情画 54
TH110001	工業システム概論	2.0	3,4年前期木曜5限	(田原 紘一)	情画 54
TH112001	印刷工学	2.0	3年前期金曜3限	甘利 武司	情画 55

## 2002年度 工学部情報画像工学科Aコース シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TH113001	マルチメディア概論	2.0	3年後期集中	(深見 拓史)	情画 55
TH116001	情報基礎英語	2.0	3年後期金曜 3限	(櫛山 雄二)	情画 56
TH117001	計算機工学セミナー	2.0	3年後期月曜 2限	(原川 哲美)	情画 56
TH118001	情報知的所有権セミナー	2.0	3年前期月曜 3,4限隔週 1,3	(木崎 邦彦)	情画 57
TH120001	情報通信ネットワーク	2.0	3年前期金曜 2限	呂 建明	情画 57
TH121001	計算図学	2.0	3年前期月曜 2限	大沼 一彦	情画 58
TH119001	画像制作実習	2.0	3年前期土曜 3,4,5限集中	(三橋 純)	情画 58
TH063101	インターンシップ	2.0	3年後期集中	小寺 宏暉	情画 59
TH062001	学外演習	2.0	3年後期集中	小寺 宏暉	情画 59
TH064101	情報画像産業汎論	2.0	3年後期木曜 5限	小寺 宏暉	情画 59
TH072001	卒業研究 I	4.0	3年後期月曜 3,4,5限	矢口 博久 <sup>他</sup>	情画 60
TH041001	卒業研究 (情報画像・情報コース 98T)	6.0	4年通期集中	情報画像工学科各 教官	情画 60
TH041101	卒業研究	8.0	4年通期集中	情報画像工学科各 教官	情画 61

授業科目名 : 情報画像工学セミナー  
 科目英訳名 : Introduction to Information and Image sciences  
 担当教官 : 伊藤 秀男  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T17F

開講時限等: 1 年前期月曜 5 限  
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)

[講義目的] 新入生を対象に、教官との人間的なふれあいを通じて、教育、研究、学生生活、進路、等についてのオリエンテーションを行う。教官当たり 5 名程度の少人数の塾を編成して自由なスタイルで実施し、将来の目標を考える上での動機づけとなるよう工夫する。

[講義内容] 導入教育として各担当教官がお別に設定する。学生の本分としての勉学への取組み姿勢、各選択コースの特徴と授業科目、卒業研究、大学院への進路等に関するアドバイスから、研究室の紹介、将来方向への指針、さらには学業以外の学生生活におよぶテーマを取上げる。グループ内での討論や教官との触れあいを通じて、インセンティブを与え、相互に啓発されるように配慮して進める。

[教科書・参考書] とくになし。必要に応じて、参考資料や討論用のプリントを配布したり、学生側から収集した情報を提示させ、共有化を図る。

[備考] 出席で評価する

授業科目名 : 画像工学概論  
 科目英訳名 : Introduction to Image Science  
 担当教官 : 大野 隆司, 山岡 亞夫, 甘利 武司, 長谷川 朗  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T180

開講時限等: 1 年後期火曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TD:画像 B	必修専門 I 類 (F11)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)			

[講義目的] 情報伝達のメディアとしての画像について、人類と文化に深い関わりを持つ印刷、写真から現在のさまざまな画像及びシステムについて、その技術的な流れ、原理、画像の応用等について解説し、画像全般に対する理解を深める。

[講義内容] 画像の定義、印刷技術について工学的な基礎、特色、社会的な役割、画像技術の中における印刷の特色、視覚情報としての画像、産業情報としての画像、コミュニケーションと画像、情報通信と画像、カメラと写真術の技術史、ハロゲン化銀を用いた写真、感光性物質を用いた記録材料の種類と画像形成の原理、テレビジョンやファクシミリなどの電子画像技術の原理、光の技術と画像、光のふるまい、ホログラフィー等について解説する。

[教科書・参考書] 画像工学シリーズ編集委員会編：画像概論 I、画像概論 II（丸善）

授業科目名 : 画像工学概論  
 科目英訳名 : Introduction to Image Science  
 担当教官 : 大野 隆司, 山岡 亞夫, 甘利 武司, 長谷川 朗  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T181  
 開講時限等: 1 年後期火曜 5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TD:画像 B	必修専門 I 類 (F11)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)			

[講義目的] 情報伝達のメディアとしての画像について、人類と文化に深い関わりを持つ印刷、写真から現在のさまざまな画像及びシステムについて、その技術的な流れ、原理、画像の応用等について解説し、画像全般に対する理解を深める。

[講義内容] 画像の定義、印刷技術について工学的な基礎、特色、社会的な役割、画像技術の中における印刷の特色、視覚情報としての画像、産業情報としての画像、コミュニケーションと画像、情報通信と画像、カメラと写真術の技術史、ハロゲン化銀を用いた写真、感光性物質を用いた記録材料の種類と画像形成の原理、テレビジョンやファクシミリなどの電子画像技術の原理、光の技術と画像、光のふるまい、ホログラフィー等について解説する。

[教科書・参考書] 画像工学シリーズ編集委員会編：画像概論 I、画像概論 II（丸善）

授業科目名 : 情報と社会  
 科目英訳名 : Information and Society  
 担当教官 : 蜂屋 弘之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T201  
 開講時限等: 1 年後期火曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)					

[講義目的] 情報工学、科学を学ぶ上での基礎知識について講述する。その上で、情報化が社会に及ぼす影響を幅広い視野で考えることを学ぶ。また、情報技術を学ぶものが身に付けておかねばならない高度な情報倫理、守るべき情報モラルについて示す。

[講義内容] 情報化社会の歴史（プログラミング入門、アルゴリズムの設計、数値計算と関数、サブルーチン、ソフトウェア工学、超大規模集積回路、マシンアーキテクチャ、言語の翻訳、プログラム実行時間、計算不可能性、人工知能）、情報化社会と著作権、情報化社会におけるセキュリティ、情報ネットワークの歴史とその特質

[教科書・参考書] 特になし。

[備考] 複数回のレポートと期末試験で評価する。情報工学概論の読み替え科目である。

授業科目名 : 情報と社会  
 科目英訳名 : Information and Society  
 担当教官 : 蜂屋 弘之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T202

開講時限等: 1年後期火曜 5 限  
 講義室 : 工 5号棟 204 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修A群 (F13)	専門必修A群 (F13)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修A群 (F13)	専門必修A群 (F13)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修A群 (F13)	専門必修A群 (F13)					

[講義目的] 情報工学、科学を学ぶ上での基礎知識について講述する。その上で、情報化が社会に及ぼす影響を幅広い視野で考えることを学ぶ。また、情報技術を学ぶものが身に付けておかなければならない高度な情報倫理、守るべき情報モラルについて示す。

[講義内容] 情報化社会の歴史（プログラミング入門、アルゴリズムの設計、数値計算と関数、サブルーチン、ソフトウェア工学、超大規模集積回路、マシンアーキテクチャ、言語の翻訳、プログラム実行時間、計算不可能性、人工知能）、情報化社会と著作権、情報化社会におけるセキュリティ、情報ネットワークの歴史とその特質

[教科書・参考書] 特になし。

[備考] 出席，レポート，試験で評価する。情報工学概論の読み替え科目である。

授業科目名 : 情報数学 1  
 科目英訳名 : Mathematics for Information Science I  
 担当教官 : 井宮 淳  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T182

開講時限等: 2年前期月曜 1 限  
 講義室 : 工 19号棟 115 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	TB:情報 B		専門必修 (F10)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)					

[講義目的] 計算機科学の基礎となる離散構造、代数構造に関する基礎的事項の例を示しながら講述する。また、その応用例として、公開鍵暗号方式での暗号の作製方法、多項式符号系による符号の変換、ブール代数と回路の関係について簡単に紹介する。

[講義内容] 1. 集合 2. 集合と関係 3. 集合と計数 4. 図形と数え上げ 5. 整数の基本的性質 6. 素数と不定方程式 7. 合同式 (1) 8. 合同式 (2) 9. 置換群と巡回群 10. 多項式と可換群 11. 重畳積分代数と形式的べき級数 12. 体と実数 13. ブール代数 14. 一般のブール代数 15. 期末試験

[履修条件] 特になし

授業科目名 : プログラムの設計と実現 I  
 科目英訳名 : Design and Implementation of Computer Programs (1)  
 担当教官 : 今泉 貴史  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F5

開講時限等: 2 年前期木曜 2 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)	T8:画像 A			その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)				

[講義目的] C 言語を用いたプログラムの作成方法、C 言語の構文、各構文の意味など、C 言語によるプログラミングの基礎を身に付ける。

[講義内容] C 言語の利用法、C 言語の基礎、条件分岐、繰り返しと配列、関数、基本データ型、多次元配列・再帰、ポインタ、文字列、文字ポインタ、構造体、入出力、プログラミング環境などについて講義する

[教科書・参考書] 定本 明解 C 言語 第 I 巻 入門編 柴田望洋 著 ソフトバンク

[備考] 中間試験と期末試験により評価する。1998,1999 年度入学生の情報画像工学演習の読み替え科目である。

授業科目名 : プログラムの設計と実現 I  
 科目英訳名 : Design and Implementation of Computer Programs (1)  
 担当教官 : 今泉 貴史  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F6

開講時限等: 2 年前期木曜 5 限  
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)	T8:画像 A			その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 A 群 (F13)	専門必修 A 群 (F13)				

[講義目的] C 言語を用いたプログラムの作成方法、C 言語の構文、各構文の意味など、C 言語によるプログラミングの基礎を身に付ける。

[講義内容] C 言語の利用法、C 言語の基礎、条件分岐、繰り返しと配列、関数、基本データ型、多次元配列・再帰、ポインタ、文字列、文字ポインタ、構造体、入出力、プログラミング環境などについて講義する

[教科書・参考書] 定本 明解 C 言語 第 I 巻 入門編 柴田望洋 著 ソフトバンク

[備考] 中間試験と期末試験により評価する。1998,1999 年度入学生の情報画像工学演習の読み替え科目である。

授業科目名 : プログラムの設計と実現 II  
 科目英訳名 : Design and Implementation of Computer Programs (2)  
 担当教官 : 今泉 貴史, 山口 匡  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F7  
 開講時限等: 2 年前期金曜 2 限  
 講義室 : 工 1 号棟 5 階 501 情報工学演習室 (1)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)			

[講義目的] ワークステーションにおける UNIX 環境について学習したあと、C 言語によるプログラミングの基礎を身に付ける。基本プログラミングに重点を置いた実習形式の講義とする。

[講義内容] 実習室環境の概要、エディタの利用方法、電子メール、ファイル操作、プログラミング環境、C 言語によるプログラミング、C 言語プログラムのデバッグなどを取り上げる。

[教科書・参考書] 定本 明解 C 言語 第 I 巻 入門編 柴田望洋 著 ソフトバンク

[備考] 出席およびレポートにより評価する。1998,1999 年度入学生の「プログラムの設計と実現」の読み替え科目である。

授業科目名 : プログラムの設計と実現 II  
 科目英訳名 : Design and Implementation of Computer Programs (2)  
 担当教官 : 今泉 貴史, 山口 匡  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F8  
 開講時限等: 2 年前期金曜 3 限  
 講義室 : 工 1 号棟 5 階 501 情報工学演習室 (1)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)			

[講義目的] ワークステーションにおける UNIX 環境について学習したあと、C 言語によるプログラミングの基礎を身に付ける。基本プログラミングに重点を置いた実習形式の講義とする。

[講義内容] 実習室環境の概要、エディタの利用方法、電子メール、ファイル操作、プログラミング環境、C 言語によるプログラミング、C 言語プログラムのデバッグなどを取り上げる。

[教科書・参考書] 定本 明解 C 言語 第 I 巻 入門編 柴田望洋 著 ソフトバンク

[備考] 出席およびレポートにより評価する。1998,1999 年度入学生の「プログラムの設計と実現」の読み替え科目である。



授業科目名 : プログラムの設計と実現 II  
 科目英訳名 : Design and Implementation of Computer Programs (2)  
 担当教官 : 今泉 貴史, 山口 匡  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F9  
 開講時限等: 2 年前期金曜 5 限  
 講義室 : 工 1 号棟 5 階 501 情報工学演習室 (1)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TH:情報画像 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)			

[講義目的] ワークステーションにおける UNIX 環境について学習したあと、C 言語によるプログラミングの基礎を身に付ける。基本プログラミングに重点を置いた実習形式の講義とする。

[講義内容] 実習室環境の概要、エディタの利用方法、電子メール、ファイル操作、プログラミング環境、C 言語によるプログラミング、C 言語プログラムのデバッグなどを取り上げる。

[教科書・参考書] 定本 明解 C 言語 第 I 巻 入門編 柴田望洋 著 ソフトバンク

[備考] 出席およびレポートにより評価する。1998,1999 年度入学生の「プログラムの設計と実現」の読み替え科目である。

授業科目名 : 画像工学各論  
 科目英訳名 : Fundamental Science of Imaging  
 担当教官 : 北村 孝司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T183  
 開講時限等: 2 年後期水曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	
TH:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)			

[講義目的] 画像工学の基礎を他の基礎工学との関連を重視しながら概説する。画像の細分化された専門教育に入る前に、画像技術者として必要最低限の画像工学の基礎、画像産業における実態、技術動向について幅広く解説する。

[講義内容] 画像工学の体系、画像の検知と入力、アナログ画像処理、画像データの処理、画像の解析、画像システムの組み立て、画像ディスプレイ、メモリー媒体と画像の読み出し、画像の記録等。

[履修条件] 画像概論をはじめ、3 セメスターまでの専門科目 (必修) を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 教科書:画像工学概論 I,II (丸善)

授業科目名 : 画像工学各論  
 科目英訳名 : Fundamental Science of Imaging  
 担当教官 : 北村 孝司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T184  
 開講時限等: 2年後期水曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1997年
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TH:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	選択必修専門I類 (F26)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)		

[講義目的] 画像工学の基礎を他の基礎工学との関連を重視しながら概説する。画像の細分化された専門教育に入る前に、画像技術者として必要最低限の画像工学の基礎、画像産業における実態、技術動向について幅広く解説する。  
 [講義内容] 画像工学の体系、画像の検知と入力、アナログ画像処理、画像データの処理、画像の解析、画像システムの組み立て、画像ディスプレイ、メモリー媒体と画像の読み出し、画像の記録等。  
 [履修条件] 画像概論をはじめ、3セメスターまでの専門科目(必修)を履修していることが望ましい。  
 [教科書・参考書] 教科書:画像工学概論 I,II (丸善)

授業科目名 : 情報数学 2 [学部・放送大学開放科目]  
 科目英訳名 : Mathematics for Information Science 2  
 担当教官 : 松葉 育雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T185  
 開講時限等: 2年後期火曜 2 限  
 講義室 : 工 5 号棟 104 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 情報の数理構造を理解するためには、確率論の基礎を理解することが不可欠である。情報理論の基礎となる確率から確率過程へと理解を深め、さらに工学的応用として時系列処理などについて講述する。  
 [講義内容] 確率の基礎概念、不確定さを表す確率の表現方法、独立事象の概念、加法定理、乗法定理、事前確率、事後確率、ベイズの定理、確率変数の平均値、分散、相関関数、確率密度関数、分布関数、独立な確率変数の和の性質、中心極限定理、母関数と積率母関数、情報工学(探索アルゴリズムなど)での応用事例、不確定さと情報、エントロピー、相互情報量、確率過程の基礎  
 [教科書・参考書] 確率、シリーズ工学のための数学、松葉著、朝倉書店  
 [備考] 試験によって評価する。

授業科目名 : プログラム言語の構造  
 科目英訳名 : Structure of Computer Languages  
 担当教官 : 今泉 貴史  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T186

開講時限等: 3 年後期火曜 5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
情報工学										
TH3:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
画像材料工学										
TH4:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
画像システム工学										

[講義目的] コンパイラについて講義する。ソフトウェア教育の中で最も効果的なのは、多くの良いプログラムを十分に読みこなすことである。本講義では、具体的な例を示しながら、コンパイラについての理解を深める。

[講義内容] コンパイラの概要、文法と言語、字句解析器 (1)、同 (2)、構文解析器 (1)、同 (2)、意味解析 (1)、意味解析 (2)、誤りの処理、仮想計算機の構成、インタプリタなどを講義するとともに試験を行う

[教科書・参考書] 新コンピュータサイエンス講座 コンパイラ 中田 育夫 著 オーム社

[備考] 中間テスト、期末テストにより評価する

授業科目名 : 算法の設計と解析  
 科目英訳名 : Design and Analysis of Algorithms  
 担当教官 : 井宮 淳  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T187

開講時限等: 2 年後期金曜 1 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
情報工学					
TH3:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
画像材料工学					
TH4:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)
画像システム工学					

  

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 各種のアルゴリズムについて理解を含めるとともに、計算量について講述する。同時に演習も併用して理解を深める。

[講義内容] プログラムの基礎、アルゴリズムの計算量、探索アルゴリズム、整列アルゴリズム、最適化アルゴリズム、文字列アルゴリズム、グラフのアルゴリズム

授業科目名 : 数値計算の理論と実際  
 科目英訳名 : Numerical Computation Theory and Applications  
 担当教官 : (河村 哲也)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T188

開講時限等: 3 年前期月曜 1 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境				専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)							
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)							

[講義目的] 科学技術計算に必須な数値計算法の基礎理論について講述する。また実際にプログラムを組んで実行し理論ばかりではなく応用できるようにする。なお、特に工学上重要な微分方程式の数値解法に重点をおく。

[講義内容] 数値計算法序論，非線形方程式の解法，連立一次方程式の解法，関数の離散補間，数値微分と数値積分，常微分方程式の解法，差分法の基礎と偏微分方程式の解の性質，差分法による偏微分方程式の解法，有限要素法と境界要素法

[備考] 期末試験とレポートで評価する

授業科目名 : 計算機システム序論  
 科目英訳名 : Introduction to Computer Organization  
 担当教官 : 伊藤 秀男  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T189

開講時限等: 2 年後期水曜 4 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH:情報画像 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)							
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)						

[講義目的] 電子計算機システムの基本的な原理，構造，動作を理解することを目的とする。電子計算機システムを始め，インターネット，家電製品，携帯機器，自動車，産業機械，航空機など今日のほとんどあらゆる機器には電子計算機が組み込まれている。したがって，これからの技術者には，電子計算機システムの基本的な原理，構造，動作を理解することが必須の条件となっている。本講義ではこれらの基本事項を修得する。

[講義内容] 1. 計算機システム入門：計算機システムの構造と動作，計算機の論理構造 2. 数や記号の表現：数や記号の表現原理，整数の表現，小数点を含む数の表現，浮動小数点表現，文字や記号の表現 3. 計算機の基本動作：COMET の概要，COMET の命令の概要，アセンブリ言語 CASL，命令の種類と形式，アセンブラの動作概要 4. 計算機回路：計算機回路の分類，基本演算と論理関数，ゲートと基本回路 5. 外部記憶装置と入出力機器：外部記憶装置，入出力機器，入出力制御

[教科書・参考書] 伊藤秀男，倉田是著「入門計算機システム」，朝倉書店

[備考] 成績評価：中間試験 50%，期末試験 50%により評価する。

授業科目名 : 回路理論 1  
 科目英訳名 : Electric Circuit Theory 1  
 担当教官 : 呂 建明  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T18A

開講時限等: 2年後期火曜 4 限  
 講義室 : 工 2号棟 103 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 電気回路の基本的な考え方, 表現方法, 解析方法などの基礎知識を学習し, また, 演習問題を随時行い, これらの基礎知識の理解を一層深め, 電気的センスを身に付けることを目的とする。

[講義内容] 抵抗, コイル, コンデンサからなる電気回路を対象に, 定常状態での交流回路を解析する。具体的には, 電圧, 電流等の複素数表示, 回路網解析, 回路の諸定理, フーリエ級数による回路の周波数特性解析等について講義する。演習も併用して理解を深める。

[教科書・参考書] よくわかる電気回路, 藤井信生 著, オーム社。

[備考] 出席, 演習と試験で評価する。

授業科目名 : 知識工学  
 科目英訳名 : Knowledge Engineering  
 担当教官 : 市川 熹  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T18B

開講時限等: 2年後期火曜 3 限  
 講義室 : 工 2号棟 103 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 計算機が利用出来る知識表現法や推論手法について、基礎的な学習を行う。各手法がどのような課題の解決に向いているのかという点の理解及び身の周りに知識工学により解決しうる問題はないかという課題発見能力の訓練を本授業の目的とする。レポート提出第1回課題“機械や計算機が知的とはどのようなことか”第2回課題“知識工学手法で解決したい自分の課題と解決法の具体的提案”2回。

[講義内容] 1. 知識工学とは 2. 知識工学の応用 3. 問題解決 4. ブラインド探索 5. ヒューリスティック探索 6. 知識表現 7. ルールモデル(プロダクションシステム) 8. フレームシステム 9. 意味ネットワーク 10. 命題論理 11. 述語論理 12. 推論 13. 機械学習 14. 分散人工知能・進化的計算 15. 期末試験

[教科書・参考書] 参考書: 小林重信 “知識工学”人工知能シリーズ 10、昭晃堂

[備考] 成績は、2回のレポートと期末試験を等しく評価する。

授業科目名 : 画像情報計測  
 科目英訳名 : Measurement and Analysis of Image  
 担当教官 : 三宅 洋一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T18C  
 開講時限等: 2年後期月曜 4 限  
 講義室 : 工 2号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B		専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 写真、印刷およびデジタル画像の階調、鮮鋭度、ノイズ、色に関する計測と解析、評価に関して講述する。

[講義内容] 画像情報の数学的表現、画像情報の標本化と量子化、画像における入出力特性、画像システムと伝達特性、画像におけるノイズの解析、カラー画像と測色混色、ハードコピーと色再現、画像による計測、画像の強調処理、2値画像処理と応用、画像の復元と構成、パターン認識と画像処理、画像情報処理の応用、画像の質と評価

[備考] 試験とレポートにより評価する

授業科目名 : 情報工学実験 1  
 科目英訳名 : Information Engineering Laboratories 1  
 担当教官 : 情報画像工学科各教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T18D, T18E, T18F  
 開講時限等: 2年後期金曜 3,4,5 限  
 講義室 : 工 1号棟 5階 501 情報工学演習室 (1)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		

[講義目的] C 言語を用いた応用プログラムの作成を通じ、アルゴリズムの設計、データ構造の実現などについて学ぶ。

[講義内容] アルゴリズムの設計法、スタック、キューなどのデータ構造の実現法、および、配列、ポインタ、関数、再帰呼び出しなど、プログラミングの実践的な技術を身につけるため、C 言語により、いくつかのプログラムの作成を演習形式で行なう。成績は出席とレポート(3~4回)により評価する。

[履修条件] 情報工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : オートマトン理論  
 科目英訳名 : Theory of Automata  
 担当教官 : 今泉 貴史, 北神 正人  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T190  
 開講時限等: 3年前期火曜 5 限  
 講義室 : 工 2号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 計算機科学の中心的概念の一つである有限オートマトンと形式言語について、有限オートマトン、正則表現と正則集合、文脈自由文法、プッシュダウンオートマトン、決定可能性などを詳述する。

[講義内容] 有限オートマトン(基本的定義と表現法)、非決定性オートマトン、動作を含む有限オートマトン、正則表現(正則表現とオートマトン)、有限オートマトンの機能の拡張、正則集合の性質(反復補題、閉包性)、正則集合に対する決定手続き、有限オートマトンの最小化、文脈自由文法(定式化と導出木)、文脈自由文法の簡単化、Chomsky 標準形、プッシュダウンオートマトン、プッシュダウンオートマトンと文脈自由言語、文脈自由言語の性質(反復補題、閉包性)、チューリング機械

[備考] 中間試験と期末試験で評価する

授業科目名 : オペレーティング・システム  
 科目英訳名 : Operating System  
 担当教官 : 北神 正人  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T191

開講時限等: 3年後期月曜 3限  
 講義室 : 工学部

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TE:都市環境						T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] オペレーティングシステムの構成要素とその機能を説明する。さらに各要素の論理構造、実現方法を学ぶことにより、実際に同等のシステム設計が可能となるための知識を習得する。

[講義内容] 基本的なアルゴリズム、記憶管理、プロセス管理と処理装置管理、入出力、ファイルの管理、情報管理・記憶管理・ジョブ管理、コマンドプロセッサとジョブ制御言語、コンピュータネットワーク、RSA と性能評価、分散 OS、並列 OS とマイクロカーネル

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 池田克夫、「オペレーティングシステム論」、コロナ社

[備考] 中間試験と期末試験で評価する

授業科目名 : 情報理論  
 科目英訳名 : Information Theory  
 担当教官 : 須鎗 弘樹  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T192

開講時限等: 3年前期火曜 4限  
 講義室 : 工 2号棟 102 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TE:都市環境						T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] シャノンの 2 大符号化定理を理解することを目的とする。具体的には、情報源符号化と通信路符号化の問題、情報源と通信路のモデル、情報源符号化定理、情報源符号化法、様々な情報量、通信路符号化定理、通信路符号化法、符号の誤り訂正能力などについて詳述する。

[講義内容] 概要（情報理論の役割・情報伝送の流れ・2 元符号など）、情報量の数量化（情報量・自己情報量・エントロピー・冗長度）、情報源符号化（符号木・平均符号長・ハフマン符号化・情報源符号化定理）、データ圧縮（可逆非可逆圧縮・ランレングス符号化・MH 符号化・ユニバーサル符号化）、通信路符号化（誤りの種類と検出訂正の原理・符号空間・ハミング距離と誤りの検出訂正・相互情報量・伝送速度・通信路容量・通信路符号化定理）基本的な誤り検出訂正符号（パリティ検査符号・ハミング符号・線形符号など）

[履修条件] 確率論の基礎を修得していることが望ましい。

[教科書・参考書] 掲示により指示する。

[備考] 中間試験と期末試験の合計で成績を評価する。

授業科目名 : 情報画像技術史  
 科目英訳名 : Development of Imaging Technology  
 担当教官 : (桑山 哲郎)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T193

開講時限等: 3 年前期集中  
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T4:情報 A		専門選択 (F30)		
T8:画像 A		選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)			

[講義目的] 画像工学の技術は急速に発展し、画像機器も多種多様になっている。これらを十分理解するには、「画像とは何か」という原点に立ち返って考えることが有用である。この講義では、技術史の視点をを用いて、画像工学の全体像に理解を深める。

[講義内容] (1) 導入 情報画像技術史を学ぶ意味/画像とは? / 「記録」と「通信」の統一的理解, (2) 画像における「大きさ」と「形」の問題 (1)-線透視図法とその歴史, (3) 「大きさ」と「形」の問題, (2) アナモルフォーシス, (4-6) 奥行き要素-ステレオ写真とステレオ画像, ホログラフィ, いろいろな立体画像技術, (7-9) 動き要素-ゾーマトロープ, プラクシノスコープ, 映画の発明, テレビの歴史, (10-11) 明暗の検出と再現-写真と網点印刷, 光と闇/テレビ画面の「黒」について, (12-14) 色の検出と再現-色とは何か, 色彩理論の歴史, カラー写真, カラー印刷, カラーテレビ, (15) まとめ 画像の魅力/ふたたび「画像とは?」

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] プリントを配布

授業科目名 : 計算機ハードウェア  
 科目英訳名 : Computer Hardware  
 担当教官 : 伊藤 秀男  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T194

開講時限等: 3 年前期水曜 3 限  
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境					専門選択 (F30)
TG:電子機械 A		専門選択 (F30)		専門選択 (F30)	
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 電子計算機ハードウェアの主な構成要素である VLSI の構成と動作, 及び設計法を理解することを目的とする。半導体の特性, VLSI 構成要素, ゲートの構造と動作, メモリ類の種類と構造などの基本的な事項を修得する。また, VLSI がどのようにして設計, 製造されるかについての技術の概要も学ぶ。

[講義内容] 1. VLSI 設計製造技術概要: VLSI の概要, 設計技術の概要, 製造技術, VLSI 評価 2. VLSI 構成材料と基本素子: 半導体材料, その他の材料, ダイオード, MOS トランジスタ 3. VLSI 回路: MOS 論理回路, 半導体メモリ, ASIC 4. 基本仕様の決定, システム設計, 方式設計, 機能設計, 論理設計, 回路設計, レイアウト設計, テスト設計 5. ハードウェア記述言語と VHDL: ハードウェア記述言語と VHDL の特徴, VHDL の基本構造, VHDL プログラム例

[教科書・参考書] 配布資料

[備考] 成績評価: 中間試験 50%, 期末試験 50%により評価する。



授業科目名 : 線形システム理論  
 科目英訳名 : Linear system Theory  
 担当教官 : 谷萩 隆嗣  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T195

開講時限等: 3 年前期水曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 最初に動的システムを解析するためのフーリエ変換、ラプラス変換、 $z$ 変換等について述べる。次に、動的システムの基礎概念および数学モデル、状態空間法などによる線形動的システムの解析方法を説明する。さらに、線形動的システムの可制御性や可観測性などの線形動的システムの構造および動的システムの安定性について述べる。

[講義内容] フーリエ変換、ラプラス変換、 $z$ 変換とサンプリング、線形動的システムの基礎、線形連続時間システムの数学モデル、線形離散時間システムの数学モデル、線形連続時間システムの解析、線形離散時間システムの解析、線形動的システムの構造、線形動的システムの安定性

[教科書・参考書] 「デジタル信号処理と基礎理論」コロナ社 (1996)

[備考] 試験、レポート、出席により評価する。

授業科目名 : 回路理論 2  
 科目英訳名 : Electric Circuit Theory 2  
 担当教官 : 蜂屋 弘之  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T196, T197

開講時限等: 3 年前期月曜 3,4 限隔週 2,4  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 電気回路の過渡応答は線形微分方程式の解として得られるが、その解法としてのラプラス変換法について種々の視点から講述する。また、演習を随時行い、回路解析の方法について総合的な理解を深める。回路理論 1, デジタル信号処理との関連も述べる。

[講義内容] 回路と線形微分方程式, ラプラス変換の定義と回路素子, ラプラス変換の例, 回路解析におけるラプラス変換の利用 (1), 同 (2), ラプラス変換における定理 (1), 同 (2), 部分分数展開を用いた回路解析, ラプラス変換とフーリエ変換, 回路網関数, 極・零点と周波数応答, 周波数応答とインパルス応答, フィルター回路の解析, 分布定数回路の解析, 試験

[履修条件] 原則として回路理論 1 を履修していること。

[教科書・参考書] 特になし。

[備考] 授業中の演習提出率, 期末テストで評価する。

授業科目名 : ヒューマンインターフェース  
 科目英訳名 : Human Interface  
 担当教官 : 市川 薫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T198

開講時限等: 3 年前期火曜 3 限  
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境						T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 身近な環境の中から“ 使いやすさ/使い難さ ”の例を探し、その理由を考えることによりヒューマン・インタフェースに関する感覚を身に付け、それをベースにヒューマン・インタフェース技術の基礎を学習する。期間中 2 回レポートを提出、授業で発表してもらう。第 1 回レポート“ 私が見つけた使いやすさ/使い難さの例 - 身の周りから ”第 2 回レポート“ 使いやすいヒューマン・インタフェースに関する私の提案 ”

[講義内容] 1. ヒューマン・インタフェースとは 2. 第 1 回レポート発表 3. ユーザのインタフェース行動 4. 認知科学及び知識工学的視点 5. 生理的・身体的視点 6. メディア、GUI 7. 対話インタフェース 8. 計測及び評価法 9. 高齢者・障害者への配慮 10. ユーザの安全・衛生 11. ヒューマン・インタフェースの設計原則 (1) 12. ヒューマン・インタフェースの設計原則 (2) 13. これからのヒューマン・インタフェース 14. 第 2 回レポート発表 15. 期末試験

[履修条件] 知識工学・確立統計を受講していることが望ましい。

[教科書・参考書] 海保、原田、須“ 認知的インタフェース ”新曜社、<p> 小松原“ 対話システムの認知人間工学設計 ”技報堂出版

[備考] 成績は、レポート、発表技術、期末テストを等価に評価する。

授業科目名 : パターン認識  
 科目英訳名 : Pattern Recognition  
 担当教官 : 大沼 一彦  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T199

開講時限等: 3 年前期火曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)					T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 情報処理の基本機能であるパターン認識の原理と応用、認識機械について講義する。

[講義内容] 1. 統計的な基礎 1、2. 統計的基礎 2、3. ベクトル表現と線形変換、4. 特徴抽出、5. 領域分割、6. パターンマッチング、7. 教師あり、教師なし分類 1、8. 教師あり、教師なし分類 2、9. 学習と線形識別関数 1、10. 学習と線形識別関数 2、11. 誤差評価にもとづく学習 1、12. 誤差評価にもとづく学習 2、13. ベイズ誤り確率、14. まとめ、15. 試験

[履修条件] 線形代数、確率統計、

[教科書・参考書] パターン認識 (石井健一郎他著、オーム社) パターン識別 (Duda,Hart,Stork 著、尾上守夫訳 新技術コミュニケーションズ)

[備考] 成績はレポートと最終回の試験の点数で決める。

授業科目名 : 情報工学実験 2  
 科目英訳名 : Information Engineering Laboratories II  
 担当教官 : 情報画像工学科各教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T19A, T19B, T19C  
 開講時限等: 3 年前期木曜 2,3,4 限  
 講義室 : 工 情報画像学科 実験室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 本実験は、4年次で行なう卒業研究のための基本となるように計画されています。本実験では、与えられたことをこなすだけでなく、自ら問題を見つけ、それを解決する能力が問われています。各教官から配布されるテキストを良く理解することはもちろんですが、それ以外の書籍文献等も参照し、情報工学の、より深い理解に勤めて下さい。

[講義内容] 実験Aでは、論理回路の設計・実装を行い、論理回路によって構成されている計算機システムなどのデジタルシステムについて学ぶ。実験Bでは、リスト、2文探索木といったデータ構造、それらを用いたソートアルゴリズムの理解と実装について学ぶ。実験Cでは、画像情報処理および色彩情報処理の基礎、光・レーザーを使った光情報処理の基礎となる実験手法や知識、データ処理法を学ぶ。

[履修条件] 情報工学コース以外の学生の受講を認めない。

[備考] 出席とレポートで評価する

授業科目名 : 多変量解析  
 科目英訳名 : Multivariate analysis  
 担当教官 : 羽石 秀昭  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T19D  
 開講時限等: 3 年後期月曜 1 限  
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修A群 (F29)	選択必修A群 (F29)

  

学科 コース	入学年度			
	1997年	1996年	1995年	1994年
T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
T8:画像 A	選択必修専門I類 (F26)		選択必修専門I類 (F26)	
TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 統計的データの解析法として、主成分分析、回帰分析、判別分析等があり、産業、経済、医療、教育等広い分野で用いられている。本講義では、これらの解析法に関して、具体的事例を多く用いながら講述する。また演習、課題を通して各自が実際に解析を行い理解を深める。

[講義内容] 確率・統計の基礎、正規分布、回帰分析（分散、共分散行列、相関行列）、重回帰分析、ロジスティック回帰分析、情報量規範（AIC）、最尤推定、ベイズ推定、主成分分析、主成分分析の応用、判別分析、マハラノビス距離、分散分析、演習、試験

[履修条件] 計算機を用いた演習を課題とするので、ある程度のプログラミング能力が必要（言語の種類は問わない）。最低でもプログラム電卓が必要。

授業科目名 : データベース  
 科目英訳名 : Data Base  
 担当教官 : (梶原 康司)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T19E

開講時限等: 3年後期水曜 5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] コンピュータが持つ「データ処理機能」を、「データ表現能力」と「データ操作能力」に区分してテーマを設定するとともに、各テーマについて「データの表現」から「レコードの表現」へ、そしてさらに「レコード間の表現」へと系統的に講義する。

[講義内容] データ処理機能の発展過程，データの表現方式，レコードの表現方式，レコード間の表現方式，レコードとファイル，順次ファイル，直接ファイル，索引順次ファイル，データベースの概要，データモデル一般，データの内部表現，データの独立性，データベースシステムの利用法

[備考] 試験とレポートで評価する

授業科目名 : 計算機機構設計論  
 科目英訳名 : Computer Design  
 担当教官 : 北神 正人  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T19F

開講時限等: 3年後期金曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 命令セット、プロセッサの設計法、入出力/メモリのアーキテクチャ等の計算機を実際に構成する際に必要となる基本的知識を説明する。さらに、RISC、VLIW、並列/超並列アーキテクチャ等の計算機を高性能化するために用いられる技術について説明する。

[講義内容] コンピュータの性能、命令セット、データと演算、プロセッサの設計 (1)(2)、入出力、メモリ (1)(2)、パイプライン、新アーキテクチャ、並列計算機

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 飯塚 肇：改訂 電子計算機 II 構成と制御：電子情報通信学会/電子情報通信学会大学シリーズ H 4：コロナ社

[備考] 中間試験と期末試験で評価する

授業科目名 : グラフとネットワーク  
 科目英訳名 : Graph and Network Theory  
 担当教官 : 井宮 淳  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1A0  
 開講時限等: 3年後期金曜 4 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年
TE:都市環境						T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	その他 (Z99)	その他 (Z99)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 通信網、並列計算機網などのネットワークシステムの結線構造を議論する際の理論的基礎となるグラフ理論の基礎を講義する。また、組合せ最適化などの離散構造をもつ問題がグラフでモデル化される例を示し、これらの問題を解くための応用について述べる。

[講義内容] グラフとは何か、道と閉路、連結性、オイラーグラフ、ハミルトングラフ、最短経路問題、木の定義と性質、木の数え上げ、平面性と双対性、グラフの彩色（点彩色、辺彩色）、有向グラフ、マッチング、メンガーの定理

授業科目名 : デジタル信号処理  
 科目英訳名 : Digital Signal Processing  
 担当教官 : 谷萩 隆嗣  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1A1  
 開講時限等: 3年後期水曜 3 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 最初に、デジタル信号処理の基礎的事項および高速フーリエ変換などを述べる。次に、アナログおよびデジタルフィルタの基礎と種々の設計理論を紹介する。また、デジタル音声信号処理（音声生成過程のモデル、線形予測分析方式、PARCOR方式、ケプストラム方式）、デジタル画像処理（画像の標本化と量子化、画像の数学モデル、2次元DFT、デジタル画像の強調、デジタル画像の復元、デジタル画像の圧縮）などについて説明する。

[講義内容] 離散フーリエ変換、高速フーリエ変換、アナログフィルタ、振幅特性、位相特性、デジタルフィルタ、フィルタの構成、フィルタの誤差解析、FIRフィルタ、IIRフィルタ、音声生成過程、線形予測分析方式、PARCOR方式、ケプストラム方式、画像の標本化、画像の量子化、画像の数学モデル、2次元DFT、画像の強調、画像の復元、画像の圧縮

[履修条件] 線形システム理論を履修しておくことが望ましい。

[教科書・参考書] デジタル信号処理と基礎理論:コロナ社(1996)

[備考] 試験、レポート、出席により評価する。

授業科目名 : 生体情報処理  
 科目英訳名 : Biological Information Engineering  
 担当教官 : (岡本 良夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1A2, T1A3

開講時限等: 3 年後期火曜 3,4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 本講義の目的は生体の情報処理様式を理解し、その工学的応用を考えることにある。最も基本的な遺伝システムから出発し、各種知覚情報の処理機構を経て生体における各種のセンサー、神経システムへ議論を進める。

[講義内容] 分子構造と情報処理、遺伝的アルゴリズム、DNA コンピュータ、生体電気現象、生体における各種のセンサ、神経系と情報処理、ニューラルネットワーク

[備考] 期末試験で評価する

授業科目名 : 情報工学実験 3  
 科目英訳名 : Information Engineering Laboratories III  
 担当教官 : 情報画像工学科各教官  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1A4, T1A5, T1A6

開講時限等: 3 年後期木曜 2,3,4 限  
 講義室 : 工 情報画像学科 実験室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	

[講義目的] 本実験は、4 年次で行なう卒業研究のための基本となるように計画されています。本実験では、与えられたことをこなすだけでなく、自ら問題を見つけ、それを解決する能力が問われています。各教官から配布されるテキストを良く理解することはもちろんですが、それ以外の書籍文献等も参照し、情報工学の、より深い理解に勤めて下さい。

[講義内容] 実験 A では、データバス回路をさらに拡張したマイクロプロセッサについてその動作の理解、マイクロプロセッサ上でのプログラミング手法を学ぶ。実験 B では、情報理論の講義で学んだ情報源符号化（データ圧縮）のしくみを、そのプログラミングを通して学ぶ。実験 C では、音声信号に含まれる複雑な情報からスペクトルと特徴の抽出を行なうことにより、信号処理技術について学習する。

[履修条件] 情報工学コース以外の学生の受講をみとめない。

[備考] 出席とレポートで評価する

授業科目名 : 心理物理学  
 科目英訳名 : Psychophysics  
 担当教官 : (坂田 勝亮)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1A7  
 開講時限等: 4 年前期木曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)

学科 コース	入学年度		
	1997 年	1996 年	1995 年
T4:情報 A		専門選択 (F30)	
T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)

[講義目的] 人間の心理はソフトウェアであるから、直接取り出して物理的に測定することができない。このためさまざまな行動を測定することによって心理状態を測定したとすることが一般的である。面接法、質問紙法、行動観察法など各種ある行動測定手法の中から、この授業では主に実験的心理測定手法を視覚現象の例を中心にして解説し、各種の心理測定法について理解することを目的とする。

[講義内容] 心理測定概念、視覚現象の概念等については簡単な解説を行った後、調整法、恒常法、上下法といった心理測定手法について解説を行う。具体的には簡単な装置を製作してある視覚現象を実際に測定してデータを得、データ処理の実際、具体的な方法、注意点などについて解説を行う。これらの実習を通して各種心理測定手法を理解できるとともに、視覚心理についても理解が深まるはずである。また実験的心理測定以外の測定手法に関しても、時間の許す限り解説、実習を行う予定である。

[教科書・参考書] 心理測定法への招待 市川伸一編著 サイエンス社 ISBN4-7819-0610-9

授業科目名 : ソフトウェア設計論  
 科目英訳名 : An overview of the methodologies for software specification and design  
 担当教官 : (古宮 誠一)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1A8, T1A9  
 開講時限等: 3,4 年前期水曜 4,5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] ソフトウェア工学の目的を明らかにし、その発展経緯をたどりながら、ソフトウェア設計とは何か、良いソフトウェア設計法が満たすべき条件を明らかにする。そして、例題を交えながら各種設計法を紹介するとともに、3つの視点から各種設計法を横断的に比較分析する。この分析結果を基に、開発対象となるソフトウェアと各種設計法（および CASE ツール）との相性（向き不向き）を明らかにして、その理由を深く考察する。

[講義内容] ソフトウェア工学の目的とその研究の背景、複雑な問題/難しい問題を解くときの常套手段、ソフトウェア開発のライフサイクルモデル、ソフトウェア設計とは何か、ソフトウェア設計法とは何か、良いソフトウェア設計法が満たすべき条件、ソフトウェア設計法の評価基準、structured programming とは、data view による設計法、functional view による設計法、behavioral view による設計法、scenario view による設計法、structural view による設計法、interaction view による設計法、モジュール分轄の視点と評価尺度

[備考] レポートで評価する

授業科目名 : 画像工学演習  
 科目英訳名 : Seminar in Image Science  
 担当教官 : 小林 裕幸  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1AC

開講時限等: 2年後期木曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 C 群 (F15)	専門必修 C 群 (F15)				

[講義目的] 画像工学の基盤となる写真、印刷、デジタル画像といった3つの分野に関する英語のテキストを読み、専門の知識を英語で理解することを目的とする。

[講義内容] Fundamentals of Photography C.B.Neblette, Fundamentals of Photography 杉浦: Chapter 2 (The History of Photography) 小林: Chapter 3 (Radiation Sensitive Systems) Pocket Guide to Digital Printing, Frank Cost, Delmar Publishers (1997) 青木: Chapter 1 (Digital Printing Fundamentals) Chapter 2 (Acquiring Images for Digital Printing) 岩崎: Chapter 4 (Analog Printing Processes) Chapter 5 (Digital Printing Processes)

[教科書・参考書] 教科書: Fundamentals of Photography, Pocket Guide to Digital Printing; 参考書: 画像概論 I、II (丸善) など

授業科目名 : 画像工学演習  
 科目英訳名 : Seminar in Image Science  
 担当教官 : 青木 直和  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1AD

開講時限等: 2年後期木曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 C 群 (F15)	専門必修 C 群 (F15)				

[講義目的] 画像工学の基盤となる写真、印刷、デジタル画像といった3つの分野に関する英語のテキストを読み、専門の知識を英語で理解することを目的とする。

[講義内容] Fundamentals of Photography C.B.Neblette, Fundamentals of Photography 杉浦: Chapter 2 (The History of Photography) 小林: Chapter 3 (Radiation Sensitive Systems) Pocket Guide to Digital Printing, Frank Cost, Delmar Publishers (1997) 青木: Chapter 7 (Rendering Images) 岩崎: Chapter 4 (Analog Printing Processes)

[教科書・参考書] 教科書: Fundamentals of Photography, Pocket Guide to Digital Printing 参考書: 画像概論 I、II (丸善) など



授業科目名 : 画像工学演習  
 科目英訳名 : Seminar in Image Science  
 担当教官 : 岩崎 賢太郎  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1AE

開講時限等: 2 年後期木曜 4 限  
 講義室 : 工 5 号棟 104 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 C 群 (F15)	専門必修 C 群 (F15)				

[講義目的] 画像工学の基盤となる写真、印刷、デジタル画像といった 3 つの分野に関する英語のテキストを読み、専門の知識を英語で理解することを目的とする。

[講義内容] Fundamentals of Photography C.B.Neblette, Fundamentals of Photography 杉浦 : Chapter 2 (The History of Photography) 小林 : Chapter 3 (Radiation Sensitive Systems) Pocket Guide to Digital Printing, Frank Cost, Delmar Publishers (1997) 青木: Chapter 1 (Digital Printing Fundamentals) Chapter 2 (Acquiring Images for Digital Printing) 岩崎: Chapter 4 (Analog Printing Processes) Chapter 5 (Digital Printing Processes)

[教科書・参考書] 教科書 : Fundamentals of Photography, Pocket Guide to Digital Printing ; 参考書 : 画像概論 I, II (丸善) など

授業科目名 : 画像工学演習  
 科目英訳名 : Seminar in Image Science  
 担当教官 : 杉浦 格也  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1AF

開講時限等: 2 年後期木曜 4 限  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)	必修専門 I 類 (F11)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 C 群 (F15)	専門必修 C 群 (F15)				

[講義目的] 画像工学の基盤となる写真、印刷、デジタル画像といった 3 つの分野に関する英語のテキストを読み、専門の知識を英語で理解することを目的とする。

[講義内容] Fundamentals of Photography C.B.Neblette, Fundamentals of Photography 杉浦 : Chapter 2 (The History of Photography) 小林 : Chapter 3 (Radiation Sensitive Systems) Pocket Guide to Digital Printing, Frank Cost, Delmar Publishers (1997) 青木: Chapter 1 (Digital Printing Fundamentals) Chapter 2 (Acquiring Images for Digital Printing) 岩崎: Chapter 4 (Analog Printing Processes) Chapter 5 (Digital Printing Processes)

[教科書・参考書] 教科書 : Fundamentals of Photography, Pocket Guide to Digital Printing ; 参考書 : 画像概論 I, II (丸善) など

授業科目名 : 画像基礎物理  
 科目英訳名 : Basic Physics for Image Science  
 担当教官 : (志村 努)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B0  
 開講時限等: 2年後期水曜1限  
 講義室 : 工9号棟 107教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)

学科 コース	入学年度			
	1997年	1996年	1995年	1994年
T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)			

[講義目的] 光学やレーザーの基礎となる振動と波動について、力学的な系を中心に講義する。1次元の振動から始め、連成振動、連続体の振動、スカラー波の波動について講義し、ベクトル波である電磁波についても若干触れる。この講義の内容が光学、電気回路等の共振現象、レーザー、等を学ぶ際に役立つであろう。振動・波動を表現する便利な道具である複素指数関数表示にも慣れてもらう。

[講義内容] 1. 振動と波動 2. 正弦波的な振動 3. 減衰のある振動 4. 強制振動 5. 共振 6. 連成振動 7. N個の結合振動体 8. 連続体の振動 9. 1次元の波 10. 2次元、3次元の波 11. 波の屈折と反射 12. 波の干渉 13. 波の回折

授業科目名 : 画像計測技術  
 科目英訳名 : Measurement Technology using Image  
 担当教官 : (鈴木 武臣)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B1  
 開講時限等: 3年後期金曜3限  
 講義室 : 工9号棟 107教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 画像形成によって対象の特徴を測定、あるいは抽出するためのさまざまな技術を学習する。

[講義内容] 1. 画像計測概観, 2. 標準化 (標準化定理, 量子化, 走査), 3. 光強度, ノイズ, 4. 各種撮像器, 5. 画像の前処理 (歪・濃度補正, 平滑化), 6. 2値画像, 7. エッジ, 線の抽出, 8. 画像の分割, 9. 2次元計測 (位置, 面積, 周長, 重心, 慣性主軸), 10. 3次元計測 (3角測量, 距離画像, 光速投影, モアレトポグラフィ), 合成開口レーダー, 光干渉 (2光束, 多光束, ホログラフィー), 断層画像 (X線CT, NMR-CT)

授業科目名 : 写真システム基礎論  
 科目英訳名 : Fundamentals of Photographic System  
 担当教官 : 小林 裕幸  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B2  
 開講時限等: 3 年前期木曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)
TH5:情報画像 A 画像材料工学				選択必修 B 群 (F2A)	
TH6:情報画像 A 画像システム工学				選択必修 C 群 (F2B)	

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T1:工業意匠 A	専門選択 (F30)			
T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)			

[講義目的] 銀塩写真からデジタル写真など、種々の写真法における画像の入力、ハードコピー出力、さらに画像の認知までを画質という観点から解説する。画像の認知科学、主観評価についても詳述する。この講義を通して、写真を見る目が育つことを期待している。写真制作の課題を予定している。

[講義内容] 1. 入力から認知まで 2. 被写体から反射される光 3. 光源の明るさをどう表わすか 4. 光源の明るさをどう表わすか 5. カメラ (ピンホールカメラ、アベックスシステム、被写界深度) 6. CCD 7. 銀塩感光材料 8. CCD と銀塩の比較 9. どのようにハーフトーンを出すか 10. 画質 (像構造、調子) 11. 調子再現 12. 主観評価、データの解析 (分散分析) 13. 認知科学 14. 写真論、写真と絵画 15. 試験

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 画像電子工学  
 科目英訳名 : Electronics for Imaging Technology  
 担当教官 : 長谷川 朗  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B3  
 開講時限等: 3 年前期月曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)				
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)			

[講義目的] 画像を一旦電気信号に変換して取り扱う画像情報伝達システムにおける要素技術・装置を取り上げる。特に、光情報である画像をいかにして電気信号に変換するかに重点を置いて学ぶ

[講義内容] (1) 概説: テレビジョン, 画像情報伝達システム; (2) 画像電子装置の基礎: 固体, 結晶内の自由電子の運動, 半導体とキャリア, エネルギー帯構造, 仕事関数, 金属と半導体の接触, PN 接合と整流作用, 電子放出, 光電現象と発光現象, 真空中の電子の運動; (3) 光電変換素子: 光電陰極, 光電管, 光電子増倍管, 光導電セル, 光起電池; (4) 画像装置: ブラウン管, 撮像管, 固体撮像デバイス

[履修条件] なし

[教科書・参考書] 講義第 1 回目に参考書を紹介する

授業科目名 : レーザ工学  
 科目英訳名 : Laser Engineering  
 担当教官 : 立田 光廣  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B4  
 開講時限等: 3 年後期水曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)		

[講義目的] 人工の光「レーザ」と「ふつうの光」との本質的な違いに目を向け、レーザの発振機構を解説する。また、今日利用されている代表的なレーザを紹介するとともに、通信や計測へのレーザの応用例について述べる。

[講義内容] 1. レーザ光とふつうの光 (ボルツマン分布, モード密度, プランクの輻射式, レーザ光の振幅分布) 2. レート方程式によるレーザ発振理論 (反転分布の必要性, 発振のしきい値, 反転分布 (利得) の飽和) 3. 半古典論によるレーザ発振理論 (1) (密度行列による解析, 分極, ローレンツ型利得スペクトルとその広がり幅) 4. 半古典論によるレーザ発振理論 (2) 5. 気体レーザの励起機構と代表例 (電子衝突, 共鳴励起, 中性原子レーザ (He-Ne), イオンレーザ (Ar), 分子レーザ (CO<sub>2</sub>)) 6. 固体レーザ (3 準位レーザ [ルビー], 4 準位レーザ [YAG], ガラスレーザ, Qスイッチとモード同期による短パルス発生) 7. 色素レーザ 8. 半導体レーザ (反転分布の発生, ホモ構造, 2 重ヘテロ構造) 9. レーザ分光学 10. 光ファイバ通信 (1) 直接受信 11. 光ファイバ通信 (2) コヒーレント受信 12. レーザによる情報処理 13. レーザ加工 14. レーザ核融合 15. 試験

[教科書・参考書] ・「レーザー その科学技術にもたらしたもの」 日本物理学会編 丸善・現代レーザ工学: 阿座上他: オーム社

・レーザ光学の基礎: 伊賀: オーム社 ...

・量子力学: 朝永: みすず書房・光エレクトロニクスの基礎: Yariv: 丸善

授業科目名 : 画像光エレクトロニクス  
 科目英訳名 : Introduction to Optical Electronics  
 担当教官 : 尾松 孝茂  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B5  
 開講時限等: 3 年後期水曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)

  

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)			

[講義目的] 電磁気学を基本として、光と物質の相互作用 (分極, 吸収, 光波結合) について解説する。また、これらの光と物質の相互作用がデバイスとして利用されている具体的な例を示すとともに、画像工学との関わりについて概説する。

[講義内容] 第 1-4 回 マックスウェル方程式と波動方程式・波動としての光の振舞い 第 5-8 回 光波の干渉・回折・コヒーレンス関数 第 9-12 回 フーリエ変換・フーリエ光学・光学的画像情報処理 第 13-14 回 超短パルスレーザと時空間情報処理 第 15 回 総括

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 第 1 回目の授業にて参考書を紹介する。

授業科目名 : 視覚工学概論 I  
 科目英訳名 : Introduction to vision science I  
 担当教官 : 塩入 諭  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B6  
 開講時限等: 3 年前期月曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 人間の視覚系について、主に知覚に関わる心理物理実験と、網膜及び大脳視覚野の各部位での情報処理過程モデルを対応づけながら、空間特性、時間特性、運動視、立体視の諸機能についての概説する。

[講義内容] 1 回: 視覚と光、見ることとその機能 2 回: 眼球の構造と眼光学系の働き 3 回: 錐体、桿体の特性と網膜像のサンプリング特性 4 回: 網膜から外側漆状体の処理に対応する視覚過程の処理 5 回: 大脳視覚野の処理に対応する視覚過程の処理 6 回: 視覚系の空間特性 7 回: 視覚系の空間周波数特性 8 回: 視覚系の時処特性を周波数特性 9 回: 視覚系の時空間特性 10 回: 視覚系の時空間特性と運動検出 11 回: 低次運動検出と高次の運動検出 12 回: 人間の奥行き知覚 13 回: 両眼立体視の諸特性 14 回: 画像表示システムと人間の視覚処理の係わり 15 回: 試験

[履修条件] フーリエ解析についての基礎知識があることが望ましい

[教科書・参考書] 資料を配布する。

授業科目名 : 視覚工学概論 II  
 科目英訳名 : Introduction to vision science II  
 担当教官 : 矢口 博久  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B7  
 開講時限等: 3 年後期水曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 人間の視覚情報処理について色覚を中心に述べ、表色系、色再現など画像工学への応用についても触れる。

[講義内容] 放射と光。輝度と明るさ。カラーオーダーシステム。視覚のメカニズムと表色系の関係。XYZ 表色系。均等色空間。CIE 表色系の活用。色弁別。色の見え。色覚のメカニズム。画像における色再現。

[履修条件] 視覚工学概論 I を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 色彩工学の基礎 (朝倉書店) (参考書), カラー画像工学 (オーム社) (参考書)

授業科目名 : 結像光学基礎  
 科目英訳名 : Fundamentals of Imaging Optics  
 担当教官 : 本田 捷夫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B8  
 開講時限等: 3 年前期火曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] レンズ、ミラーにより像を作る作用 (結像作用という) の基本を理解することを、目的とする。基本的な考え方として、光線の振る舞い (屈折、反射) を基本とした結像光学について、わかりやすく講義し、画像の撮影、カメラの設計・開発等に必要基本的項目を理解することを、目的としている。

[講義内容] 光線工学に重点をおいた結像光学系について、わかりやすく講義する。具体的には、光線の振る舞い、近軸結像関係、結像光学系の主要点、色収差、光線収差、実際の結像光学系について、基本的な項目に絞って紹介する。また、演習 (宿題) を多く (5 ~ 6 回) 出す。

授業科目名 : 光工学  
 科目英訳名 : Optical Engineering  
 担当教官 : 羽石 秀昭  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1B9  
 開講時限等: 3年後期金曜 2 限  
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年		1997年	1996年
TG:電子機械 A				専門選択 (F30)	T4:情報 A		専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修専門 II 類 (F27)	

[講義目的] 光学および画像工学において基本的な数学的ツールであるフーリエ解析について講述する。具体的には、線形システム一般の概念を説明した後、フーリエ級数、1次元フーリエ変換、2次元フーリエ変換について講述する。さらにイメージングシステムのフーリエ解析を示し、画像工学におけるフーリエ解析の有用性を述べる。

[講義内容] フーリエ変換とコンボリューション、ベクトル、関数の直交性、ベクトル関数の内積、フーリエ級数、1次元フーリエ変換、コンボリューション（たたみこみ積分）と相関、フーリエ変換の諸性質、線形システム、線形システムと演算子、シフト不変システム、インパルス応答、周波数応答関数、固有関数と固有値、イメージングシステムのフーリエ解析、2次元フーリエ変換、点像分布関数 (PSF) と周波数伝達関数 (MTF)、さまざまな直交変換

[教科書・参考書] 参考書：光とフーリエ変換 谷田貝豊彦著 朝倉書店

授業科目名 : 固体物性論  
 科目英訳名 : Introduction to Solid State Science  
 担当教官 : 日野 照純  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1BA  
 開講時限等: 3年前期木曜 2 限  
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年		1997年	1996年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)		

  

学科 コース	入学年度			
	1997年	1996年	1995年	1994年
T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)			

[講義目的] 固体の基本的な性質や特徴を理解するための、基本的な概念を講義する。具体的な固体物質の取り扱い方、固体の光学的・電気的な性質について簡単なモデルを用いて説明する。超伝導などの最近のトピックスについてもふれる予定である。

[講義内容] 第1回 イントロダクション 第2回 固体試料の精製法 第3回 固体の測定用試料の作成法  
 第4回 固体試料の分析 第5回 固体の構造 第6回 固体の構造解析 第7回 固体の光学的性質  
 第8回 電気伝導 第9回 電気伝導(続き) 第10回 固体の電子状態と電気伝導 第11回  
 不純物半導体 第12回 超伝導 第13回 薄膜 第14回 相転移 第15回 試験

[履修条件] 極力数式の使用は避けるが、ある程度の数式はフォローできること。

[教科書・参考書] 教科書には上野・日野・石井著「固体物性入門」(朝倉書店)を使用。参考書は多数あるので教科書の巻末を参照のこと。

授業科目名 : デジタル画像設計論  
 科目英訳名 : Digital Image Design  
 担当教官 : 小寺 宏暉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1BB  
 開講時限等: 3 年前期金曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TE:都市環境						T4:情報 A		専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 電子画像システムのハードウェアおよびソフトウェア設計に必要なデジタル技術のうち、デジタル画像処理に関する基礎的事項について、濃淡画像の処理を中心に解説する。

[講義内容] 全 14 章を毎週 1 章ずつ講義する。概要は以下の通り。[1] 画像処理に必要な数学的基礎：線形代数・フーリエ変換の画像応用 [2] 視覚の特性と画像設計：空間周波数特性、MTF、階調、解像度 [3] 画像のデジタル化：標本化、量子化 [4] 濃淡画像の変換：空間フィルタ、平滑化、鮮鋭化、擬似階調変換 [5] 画像復元の基礎：点像応答、逆畳込み、画像の劣化モデルと復元の考え方

[履修条件] 線形代数の基礎知識は必須、フーリエ解析を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 各章毎に、毎週プリント資料を配布する。

授業科目名 : 画像システム工学演習 I  
 科目英訳名 : Seminar in Imaging Systems I  
 担当教官 : 尾松 孝茂  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1BC  
 開講時限等: 3 年前期火曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室, 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	TD:画像 B	必修専門 II 類 (F12)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学					その他 (Z99)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 C 群 (F15)	専門必修 C 群 (F15)		

[講義目的] 画像システム工学に必要とされる基礎的な知識を、数学演習および英文専門書読解を通して習得する。第 6 セメスターに開講される画像システム工学演習 II と合わせて、画像システム工学の基礎となる基本的事項と手法を学ぶ。

[講義内容] 数学演習 (計 6 回) 1. 微分：三角関数・指数関数の導関数、最大最小問題、合成関数の微分、2. 積分：指数・三角関数の不定積分・定積分、規格直交性、3. 常微分方程式：単振動における線形微分方程式、4. 行列：ベクトルの外積、一次変換、 $2 \times 2$  行列の逆行列・対角化、固有ベクトル・固有値、5. 近似計算・数値解法：テイラー展開、ニュートン法、6. 統計回帰分析：最小二乗法、正規分布、標準偏差・分散英文読解 (計 6 回) "Television goes digital", Physics Today 1999 あるいは Digital Simulations of Electrochemical Problems(Bard,Wiley) "Television goes digital", Physics Today 1999,

[履修条件] 画像システム工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : 画像システム工学演習 II  
 科目英訳名 : Seminar in Imaging Systems II  
 担当教官 : 小寺 宏暉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1BD

開講時限等: 3 年後期月曜 2 限  
 講義室 : 各研究室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修C群 (F15)	専門必修C群 (F15)

[講義目的] 画像システム工学に必要とされる基礎的な知識を演習を通して習得する。第6セメスターに開講される卒業研究Iと関連させながら、画像システム工学の基礎となる基本的事項と手法を学ぶ。

[講義内容] 画像システム工学講座の各教育研究分野でどのような研究がなされているか、演習、実験等を通して体得する。

[履修条件] 画像システム工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : 画像システム工学実験 I  
 科目英訳名 : Laboratory work in Imaging System I  
 担当教官 : 矢口 博久  
 単位数 : 3.0 単位  
 履修登録コード: T1BE, T1BF, T1C0

開講時限等: 2 年後期火曜 3,4,5 限  
 講義室 : 工 情報画像学科 実験室, 工 デザイン工学科 実験室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学		その他 (Z99)			その他 (Z99)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修C群 (F15)	専門必修C群 (F15)

[講義目的] 画像システム工学に必要とされる基礎的な知識を実験を通して修得する。

[講義内容] (1) 光と色, 光線のふるまい, 色とスペクトル, 加法混色と減法混色 (2) 画像処理の基礎, MATLAB, 統計の基礎, 画像評価 (3) 電子回路, 論理回路, パルス発生回路, オシロスコープ, 発光・受光素子

[履修条件] 画像システム工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : 画像システム工学実験 II  
 科目英訳名 : Laboratory work in Imaging System II  
 担当教官 : 矢口 博久  
 単位数 : 3.0 単位  
 履修登録コード: T1C1, T1C2, T1C3

開講時限等: 3 年前期火曜 3,4,5 限  
 講義室 : 工 情報画像学科 実験室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修C群 (F15)	専門必修C群 (F15)

[講義目的] 画像システム工学に必要とされる基本的な知識について実験を通して修得する。

[講義内容] (1) デジタル画像, (2) 色彩工学, (3) 光学, (4) 画像作成技法の4つのテーマについて, 第5, 6セメスターを通して体験的に学ぶ。

[履修条件] 画像システム工学コース以外の学生の受講を認めない。



授業科目名 : 画像システム工学実験 III  
 科目英訳名 : Laboratory work in Imaging System III  
 担当教官 : 矢口 博久  
 単位数 : 4.0 単位  
 履修登録コード:  
 開講時限等:  
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 画像システム工学に必要なとされる基本的な知識について実験を通して修得する。

[講義内容] (1) デジタル画像, (2) 色彩工学, (3) 光学, (4) 画像作成技法の 4 つのテーマについて, 第 5, 6 セメスターを通して体験的に学ぶ。

[履修条件] 画像システム工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : 色彩工学  
 科目英訳名 : Color Engineering  
 担当教官 : (大田 登)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1CA  
 開講時限等: 3 年後期木曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] カラー画像の解析・評価の基礎となる色彩工学について, その基礎・発展・応用に亘り講義する。

[講義内容] 色彩工学に関連する次の分野に就き, 約 10 回の集中講義により説明する。1. 光と視覚 2. 色覚と表色系 3. CIE 表色系の成立 4. 均等な表色系 5. 測色値の測定と計算 6. 幾つかの実用的な応用

[履修条件] 測色演習レポートでテストを代替

[教科書・参考書] 色彩工学 (大田登著、東京電気大学出版局)

授業科目名 : 画像解析  
 科目英訳名 : Design and Evaluation of Image Quality  
 担当教官 : (犬井 正男)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1CB  
 開講時限等: 3 年後期金曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			TB:情報 B	専門選択 (F30)	
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 写真、印刷、デジタルプリントなどのカラ - 及び白黒ハードコピー画像の画質 (調子再現、色再現、シャープネス、ノイズ、など) について、画質の要因、評価方法、および設計について講義する。

[講義内容] 1 回:概要、測色、2 ~ 4 回: センシトメトリー、5 回: 調子再現、6 ~ 9 回: 色再現、10 ~ 12 回: シャープネス、13 回: ノイズ、14 回: 像構造に関する総合評価値、15 回: テスト

[教科書・参考書] 「カラーハードコピー画像における画像評価とその応用」(犬井正男著、生協書籍部にて販売)

授業科目名 : 画像複製論  
 科目英訳名 : Color Image Reproduction  
 担当教官 : (洪 博哲)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1CC  
 開講時限等: 3年後期金曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] カラースキャナ、デジタルカメラ等の入力装置、及び、ディスプレイ、プリンタ等の出力装置を用いた異種メディア間のカラー画像複製に必要とされる、主に測色の色再現の基礎理論を学び、色再現システム全体としてのフレームワークの考え方と各問題点を理解する。

[講義内容] カラー画像複製に必要な測色学理論、各画像機器の色再現システムの構造を解説し、色再現におけるフレームワークについて議論する。さらに、実現に際して必要な、ハーフトニング、キャラクターライゼーション、色の見えモデル、色域マッピング、および、色変換方法の各問題点について講義し、実在するカラーマネージメントシステムへの応用について解説する。

[履修条件] 線形代数を履修していること。

[教科書・参考書] (教科書) なし。(参考書) 太田登、色再現工学の基礎、コロナ社、および、洪博哲、お話・カラー画像処理、CQ 出版社。

授業科目名 : リモートセンシング工学  
 科目英訳名 : Remote Sensing Technology  
 担当教官 : 竹内 延夫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1CD  
 開講時限等: 4年前期木曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)			選択専門 II 類 (F35)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 地球環境を対象とした画像計測の一分野であるリモートセンシング (RS) について基礎原理、計測、画像データ処理、情報抽出等の基礎事項を講義する。マイクロ波、レーザーを利用した手法についても述べる。

[講義内容] RS の定義、電磁波の性質、物質との相互作用、放射、センサの種類、測定対象となる地球環境、衛星 RS (衛星の軌道と特徴、主な衛星・センサ) 画像処理、各種補正、データの表示、情報抽出と判読

[教科書・参考書] 日本リモートセンシング研究会編：図解リモートセンシング、日本測量協会発行

授業科目名 : 画像電子機器工学  
 科目英訳名 : Image Electronics  
 担当教官 : (小町 祐史)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1CE  
 開講時限等: 3年前期木曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] ファクシミリに始まった文書画像情報の交換に必要な技術を、その発達の過程に沿って解説する。ラスト画像の交換から構造化文書の生成・交換・記憶に至る関連技術を網羅し、さらに最近のマルチメディア/ハイパメディア文書処理に言及する。

[講義内容] 文書画像情報の交換技術ラスト画像の交換から構造化文書の生成・交換・記憶マルチメディア/ハイパメディア文書処理

[教科書・参考書] 講義の中で理解を深めるための参考文献を紹介する。

授業科目名 : 画像システム設計論  
 科目英訳名 : Visual Processing and Systems Engineering  
 担当教官 : (湯山 一郎)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1CF  
 開講時限等: 3 年後期水曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] デジタル放送などを含め映像信号とマルチメディア情報の取り扱いが今後の IT 技術の基本の一つとなる。本講義ではそれらの設計に必要な、基本的な要素技術とシステムへの展開について解説し、総合的な理解を得ることを目的とする。

[講義内容] 映像信号とマルチメディア情報の処理に必要な諸技術を理解できるよう、社会的なシステムとしての映像システムから信号発生、デジタル化、帯域圧縮、高能率符号化、各種記録技術、MPEG 等の規格化等実務に沿った形かつ体系的に講義を行う。

[教科書・参考書] 必要に応じて、有用と思われる情報を提供するが、授業では必要ない。授業は主にパワーポイントとその配布資料により行う。

授業科目名 : 基礎物理化学 I  
 科目英訳名 : Fundamental Physical Chemistry I  
 担当教官 : (平田 光男)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D1  
 開講時限等: 2 年後期月曜 3 限  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 化学系学問の中で物理化学は、最も基礎的な学問である。その中心に熱力学があり、関与する分野は非常に多岐にわたっている。本講義では、最初に最も基本的な単位についての取扱いから始まり、理想気体の分子運動、実在気体の特性、熱力学法則の科学的意味と取扱い、系の变化方向を示す自由エネルギー変化の程度の推察について学ぶ。

[講義内容] 1. SI 単位, 2. 気体分子運動論, 3. ファンデルワールズ式, 4. ビリアル式, 5. 熱力学第 1 法則, 6. エンタルピー, 7. 断熱過程, 8. 熱力学第 2 法則, 9. エントロピー, 10. カルノーサイクル, 11. 熱力学第 3 法則, 12. ギブズ/ヘルムホルツ自由エネルギー, 13. 相平衡, 14. 化学ポテンシャル, 化学平衡, 15. 試験

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 基本化学シリーズ 6 「物理化学」久下謙一、大西勲、島津省吾、北村彰英、進藤洋一著 朝倉書店

授業科目名 : 基礎物理化学 II  
 科目英訳名 : Fundamental Physical Chemistry II  
 担当教官 : 小林 裕幸  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D2  
 開講時限等: 3 年前期金曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 画像工学において重要な役割を果たしている物理化学の中から、化学平衡、反応速度について、特に写真処理における実践例を通して理解を深めることを目的とした講義。化学平衡では熱力学、およびイオン平衡の近似法を一切用いない厳密な計算法について詳しく説明する。反応速度では、カラー写真の色素形成反応に例をしぼり、理論、測定法およびデジタルシミュレーションによるデータ解析法について詳しく説明する。

[講義内容] 1. 序論, 2. 平衡の熱力学, 3. 状態の変化 1 (相平衡など), 4. 状態の変化 2 (溶解、吸着など), 5. イオン平衡 1 (酸塩基平衡), 6. イオン平衡 2 (沈殿平衡、錯体平衡), 7. イオン平衡 3 (酸化還元平衡), 8. 均一系反応の速度論, 9. 不均一系反応の速度論, 10. 物質移動過程, 11. 反応速度の測定法 1 / 分光法, 12. 反応速度の測定法 2 / 電気化学的方法, 13. デジタルシミュレーション 1 (時間の離散化), 14. デジタルシミュレーション 2 (時間および空間の離散化), 15. 期末試験

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] [教科書] 化学反応と画像 / 小林裕幸編著 (丸善) [参考書] 物理化学 / アトキンス (東京化学同人), 基礎物理化学 / ムーア (東京化学同人)

授業科目名 : 基礎光化学  
 科目英訳名 : Photochemistry  
 担当教官 : 森田 浩  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D3  
 開講時限等: 3 年前期金曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)	TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)				

[講義目的] 有機分子や分子集合体が光を吸収して光励起状態となった時の分子の性質やその化学反応性、また、光や熱を放出して始めの (基底) 状態に戻る過程 (発光、エネルギー移動、分子内緩和) に関する基礎的な知識と励起状態に特有な現象 (励起錯体、電子移動) について勉強し、その実験法について解説する。

[講義内容] 第 1 回; はじめに (講義の位置付け、光による化学結合と分子構造の変化); 第 2, 3 回; 分子の光励起状態 (電子励起状態、振動準位、回転準位); 第 4, 5 回; 光の吸収と放出 (遷移確率、吸収強度、発光強度); 第 6 回; 分子の光励起法 (多光子過程、ポテンシャルエネルギー曲面); 第 7, 8 回; けい光スペクトルとりん光スペクトル (観測法、スペクトルの形、けい光寿命、Franck-Condon 因子); 第 9, 10 回; 光励起分子の分子内エネルギー緩和 (Kasha 則、El-Sayed 則、振電相互作用、スピン - 軌道相互作用); 第 11 回; 光励起エネルギーの移動、遅延けい光; 第 12 回; エキシマー、励起錯体; 第 13, 14 回; 光化学反応と反応理論、反応性指数、Woodward-Hoffmann 則; 第 15 回; 期末テスト

[履修条件] 基礎物理化学 1 や量子化学を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 授業中に教材用プリントを配布する。J. B. Birks, "Photophysics of Aromatic Molecules", Wiley-Interscience (1970). ; N. J. Turro, "Modern Molecular Photochemistry", Benjamin-Cummings (1978).

授業科目名 : 基礎界面化学  
 科目英訳名 : Fundamental Surface Science  
 担当教官 : (古澤 邦夫)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D4

開講時限等: 3 年前期木曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)

  

学科 コース	入学年度		
	1997 年	1996 年	1995 年
T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)		

[講義目的] 界面科学及びコロイド科学の基本事項およびトピックスの中から分散系、固体表面、界面活性剤溶液及び膜の物性を中心に口述する。

[講義内容] コロイド科学、マイクロエマルション、単分子膜、分散系、粒子分散と凝集、界面電気現象、電気二重層、DLVO 理論、高分子吸着、立体反発、枯渴理論、ヘテロ凝集、界面活性剤、CMC、表面の濡れ性、接触角

授業科目名 : 画像記録材料  
 科目英訳名 : Image Recording Materials  
 担当教官 : 小林 範久  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D5

開講時限等: 3 年後期火曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

  

学科 コース	入学年度		
	1997 年	1996 年	1995 年
T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)

[講義目的] 身近にある記録・表示システムを紹介し、その機能発現において材料がどのような役割をになっているか、どのような特徴が要求されるかを、おもに機能性有機材料を例に講義する。それらシステムにおける材料の重要性について理解し、知識を習得する。

[講義内容] 1. 記録・表示システムにおける材料、2. 感熱記録と材料、3. プリンターシステムと材料、4. 光記録と材料、5. 光ディスク、6. 高密度光記録、7. 表示システムと材料、8. 液晶、9. クロミズムを利用した表示、10. 有機発光素子と表示、11. 電子ペーパー、12. 分子、原子レベルでの記録・表示

[履修条件] 高分子、有機化学関連の授業を履修済みであることが望ましい。

[教科書・参考書] 情報記録システム材料(学会出版センター)など、初回に紹介する。

授業科目名 : 写真材料学  
 科目英訳名 : Photographic Materials  
 担当教官 : 大野 隆司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D6  
 開講時限等: 3年後期火曜 4 限  
 講義室 : 工 9号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH1:情報画像A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像A	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)
TH3:情報画像A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修B群 (F2A)	選択必修B群 (F2A)			
TH4:情報画像A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 銀塩写真材料は感光・記憶・表示素子として優れた特性を持っている。写真には種々の方式があるが、本講義では銀塩写真材料を用いる写真（アナログ写真）と最近のデジタル写真の材料について解説し、現在の写真材料について理解させる。

[講義内容] 写真の誕生から現在の写真になるまでの発達の過程を材料の観点から概説する。さらに現在の銀塩写真材料（感光材料の種類、支持体、ゼラチンの写真作用、各種添加剤、処理薬品など）、およびデジタル写真プリント材料について、材料の観点から講義する。

[履修条件] 画像工学概論、画像工学各論、画像物理化学等を履修済みであることが望ましい。

[教科書・参考書] 参考書：画像工学シリーズ「写真のケミストリー」（丸善）、写真工学の基礎 銀塩写真編（コロナ社）、ファインイメージングとデジタル写真（コロナ社）、にかわとゼラチン（丸善）など

授業科目名 : 画像物理化学  
 科目英訳名 : Photographic Physical Chemistry  
 担当教官 : 久下 謙一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D7  
 開講時限等: 3年後期火曜 1 限  
 講義室 : 工 9号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年	1995年	1994年
TH1:情報画像A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像A	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)
TH3:情報画像A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修B群 (F2A)	選択必修B群 (F2A)					
TH4:情報画像A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修C群 (F2B)	選択必修C群 (F2B)					
TD:画像B	選択必修専門II類 (F27)									

[講義目的] まず化学の基礎的な概念である原子論、結合論について述べる。量子論の波動方程式の意味について解説するが、方程式を解くことは行わない。高校で習った原子の電子構造、元素の周期律、基本的な化学結合などについて、大学レベルへのグレードアップを図る。これをもとに固体の結合と固体の電子構造について述べる。さらに量子論で考えた光の性質、色の見え方、光化学反応について説明し、身近な現象、画像との関連について述べる。化学の基礎的性質が、画像工学とどう関わっているかの視点を常に持って解説する。

[講義内容] 1回：(第1章原子の電子構造) 原子の構造、2回：量子力学とは、3回：波動方程式の意味、4回：オービタル、5回：原子の電子配置、6回：(第2章周期律) 元素の周期律、7回：(第3章化学結合) 分子オービタル、8回：極性結合、9回：オービタルの混成、10回：(第4章固体の電子構造) 金属の電子構造、11回：半導体の電子構造、12回：(第5章光学的性質) 光量子、13回：光の吸収と物質の色、14回：(第6章光化学) 固体の光化学反応、15回：試験

[履修条件] 基礎化学A, Bを履修していることが、望ましい

[教科書・参考書] 教科書：特になし、参考書：アトキンス物理化学の基礎（東京化学同人）、画像工学シリーズ8：化学反応と画像（丸善）、基本化学シリーズ9：基礎無機化学（朝倉書店）

[備考] 随時宿題を課す。成績は宿題と試験の両方で評価する。宿題と試験の総合、または試験単独のどちらかで、一定水準に達していれば合格とする

授業科目名 : 写真化学  
 科目英訳名 : Photographic Chemistry  
 担当教官 : 大川 祐輔  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D8

開講時限等: 3 年前期月曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 写真が写る過程を物理化学的に理解することを目的に、感光材料、感光過程、現像とそれに続く処理、カラー写真プロセスなどを主に物理化学の観点から総合的に講義する。また写真という例を通して、画像を記録、再現するためにどのような要素が重要なのかを考察する。

[講義内容] <http://www.tp.chiba-u.ac.jp/~yjo/lecture/> 参照。若干の変更はあるが以下の項目をとりあげる 0 序論・写真過程の概観 1 ハロゲン化銀結晶 1.1 ハロゲン化銀の一般的性質 1.2 写真感光体としてハロゲン化銀の製造 2 露光 - ハロゲン化銀の光応答 2.1 物質の電子構造 2.2 光電子励起 2.3 ハロゲン化銀の電子構造と光応答 2.4 潜像核の形成 2.5 化学増感 2.6 分光増感 2.7 相反則と露光効果 2.8 写真感光過程における非効率因子 3 黒白写真における現像 3.1 現像の物理化学 3.2 現像液 3.3 現像効果 3.4 現像後の処理 3.5 特殊な現像 4 カラー写真における現像 4.1 発色現像反応 4.2 現像液 4.3 カプラー 4.4 現像後の処理 - 漂白 5 熱現像システム 6 画像保存 7 廃棄物処理と環境問題

[履修条件] 特にないが、基礎物理化学、写真材料学もあわせて履修することが望ましい。熱力学、反応速度論、界面科学、固体物性論、有機電子論などの予備知識があると理解しやすい。

[教科書・参考書] 三位信夫、大野隆司編著、「写真のケミストリー」、丸善 (2001) 小林裕幸編著、「化学反応と画像」、丸善 (1995) 日本写真学会編、「改訂 写真工学の基礎 銀塩写真編」、コロナ社 (1998)

授業科目名 : 電子イメージング工学  
 科目英訳名 : Electronic Imaging  
 担当教官 : 北村 孝司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1D9

開講時限等: 3 年前期水曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)	TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)					

[講義目的] デジタル画像記録について、電子写真、ダイレクトマーキングなどのノンインパクト印刷技術を例に解説する。さらに、レーザーサーマル技術を使用した高精細画像記録および画像形成に関わるプロセス設計の考え方についても述べる。

[講義内容] 電子写真プロセス、帯電、露光、現像、転写、定着、感光体、現像機構、ダイレクトマーキング、インクジェット記録、熱転写、レーザーサーマル記録、ダイレクト製版、デジタルペーパー

授業科目名 : 界面電子プロセス  
 科目英訳名 : Interfacial Electronic Processes  
 担当教官 : 星野 勝義  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1DA  
 開講時限等: 3 年前期金曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 固体/固体, 固体/液体, 固体/気体等の界面での電子移動についての基礎、及びそれら基礎現象が画像記録及び表示材料にいかん利用されているかについて解説する。

[講義内容] 1-序論, 2-半導体の基礎 (I), 3-半導体の基礎 (II), 4-電子写真感光体 (I), 5-電子写真感光体 (II), 6-エレクトロルミネッセンス素子, 7-摩擦帯電現象 (I), 8-摩擦帯電現象 (II), 9-電極反応の基礎 (I), 10-電極反応の基礎 (II), 11-エレクトロクロミックディスプレイ, 12-放電現象, 13-プラズマディスプレイ, 14-予備日, 15-期末テスト

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 講義の中で参考文献を紹介する。また、必要に応じて資料を配付する。

授業科目名 : 画像高分子物性論  
 科目英訳名 : Material Science of Polymers  
 担当教官 : 小関 健一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1DB  
 開講時限等: 3 年後期木曜 1 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 高分子物質は、その物性を生かして金属やガラスなどに置き換わる材料として、また新しい機能を持つ材料として様々な分野において利用されている。それらの機能を発現する高分子の物性について、画像の分野での利用と関連づけながら解説する。またこれらの基礎となる高分子化学についてもわかりやすく解説する。

[講義内容] 1. はじめに ~ 画像分野に於ける高分子物性について 2-3. 高分子化学 (1-2) 4. 高分子の分子量特性と材料物性 5-7. 高分子材料の光学物性 (1-3) 8-9. 高分子材料の熱物性 (1-2) 10. 光反応性高分子におけるガラス転移温度の重要性について 11. 高分子材料の電気物性 画像材料との関わり 12. 高分子液晶などにおける材料物性 13. 高分子材料の物性評価方法 14. 計算機による高分子物性予測 15. テスト

[履修条件] なし

[教科書・参考書] 「基礎高分子化学」(朝倉書店)、「色材物性工学」(丸善)、「高分子の光物性」(共立出版)ほか、講義の中で紹介



授業科目名 : 分子素子基礎論  
 科目英訳名 : Molecular Devices  
 担当教官 : 森田 浩  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1DC

開講時限等: 3年後期金曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 新しいコンセプトに基づく原子、分子、クラスターや超微粒子のマニピュレーション（固定、捕獲、移動、加工法）とナノメートルサイズの分子素子や画像形成素子や機能性材料の作製法、および、その物理、化学特性について学習し、さらに、その背景にある基礎科学や新規なテクノロジーについて理解する。

[講義内容] 第 1 回：講義の位置付け；第 2 - 4 回：新技術に必要な基礎科学 (A) エキシマーレーザ、SOR, (B) 多光子過程, (C) X-線吸収の素過程；第 5 回：光、電子線、イオンビームを組み合わせた新規な科学と加工技術；第 6 回：レーザーアブレーション；第 7 - 9 回：ナノテクノロジーの基礎 (1) 近接場走査型顕微鏡 (STM, AFM), (2) 原子スイッチ, (3) FOLANT 法；第 10 回：量子ドットと量子細線；第 11 回：マイクロレーザ；第 12 回：レーザトラッピング、光学ピンセット；第 13、14 回：クラスターの科学と分子素子への展開；第 15 回：期末テスト

[履修条件] 量子化学、光化学を履修していることが望ましい。

[備考] 全体を網羅する成書はないため、必要に応じてプリント資料などを配布する。

授業科目名 : 光機能材料  
 科目英訳名 : Advanced Materials for Imaging  
 担当教官 : 山岡 亜夫  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1DD

開講時限等: 3 年前期月曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 光や電子線などのエネルギーと物質の相互作用で発現する物質変化を研究し、それらを材料系へ応用するための設計と評価について解説する。具体的には相互作用と材料の機能発現の機構、材料化の方法などについて講義する。

[講義内容] 光機能材料の構成と組立、情報記録における光機能材料の役割、情報記録材料の設計例、情報記録材料の評価因子、光記録素子と有機物質、アーカイバル記録、リライト記録、高分子による超微細画像、広がりゆく利用技術、総括

[教科書・参考書] 情報記録 - 化学的アプローチ - 日本化学会編、小門 宏、山岡亜夫 著、大日本図書 (1998) をテキストとする。

授業科目名 : 応用光化学  
 科目英訳名 : Applied Photochemistry  
 担当教官 : 高原 茂  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1DE

開講時限等: 3年後期木曜2限  
 講義室 : 工9号棟 206教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH1:情報画像A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修B群 (F2A)	選択必修B群 (F2A)
TH4:情報画像A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

  

学科 コース	入学年度			
	1997年	1996年	1995年	1994年
T8:画像A	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)	選択必修専門II類 (F27)

[講義目的] 広く光化学を利用したさまざまな応用例を中心に解説し、材料としての応用に関わる概念を整理する。応用に関わるさまざまな科学との関わりや光化学の典型的な反応、原理についても解説する。

[講義内容] デバイス・材料研究開発に関する光化学の応用と融合、光と物質の相互作用、励起状態、光吸収を制御する材料と分子、光反射・屈折率を制御する材料と分子、偏光・旋光性を制御する材料と分子、光劣化を制御する材料と分子、光による化学合成と反応、レーザーの化学反応への応用、光硬化材料と分子、光触媒と応用、生体と光化学

[教科書・参考書] 徳丸克己「光化学の世界」(大日本図書)、R. Suppan「Chemistry and Light」(The Royal Society of Chemistry)

授業科目名 : 画像材料工学演習 I  
 科目英訳名 : Seminar in Imaging Materials I  
 担当教官 : 小関 健一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1DF

開講時限等: 3年前期水曜2限  
 講義室 : 工9号棟 107教室, 各研究室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TH:情報画像A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T8:画像A	必修専門II類 (F12)	必修専門II類 (F12)
TH1:情報画像A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)			
TH3:情報画像A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修B群 (F14)	専門必修B群 (F14)			

[講義目的] 画像材料工学に必要とされる基礎的な知識を演習を通して習得する。第6セメスターに開講される画像材料工学演習IIと合わせて、画像材料工学の基礎となる基本的事項と手法を学ぶ。

[講義内容] 演習は前半の全体演習(画像材料工学、印刷材料工学、光機能材料工学、画像形成工学、像機能材料工学、光物性工学)を終えた後、後半は各教官に所属し個別演習を行う。個別演習においては、卒業研究を履修するための英語文献購読、基礎実験を行い、基礎的な研究遂行能力を養う。

[履修条件] 画像材料工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : 画像材料工学演習 II  
 科目英訳名 : Seminar in Imaging Materials II  
 担当教官 : 小関 健一  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1E0

開講時限等: 3 年後期月曜 2 限  
 講義室 : 各研究室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)

[講義目的] 画像材料工学に必要とされる基礎的な知識を演習を通して習得する。第 6 セメスターに開講される卒業研究 I と関連させながら、画像材料工学の基礎となる基本的事項と手法を学ぶ。

[講義内容] 演習 I を受け、卒業研究を履修するためのさらなる基礎知識の習得と卒業研究に必要とされる専門の一端に触れる。卒業研究 I と関連させながら、知識の習得法や測定法の演習を行い、卒業研究への移行が速やかにできるようにする。演習 II も演習 I と同様、少人数グループに分かれ、各教官に分属して行われる。

[履修条件] 画像材料工学コース以外の学生の受講を認めない。

授業科目名 : 画像材料工学実験 I  
 科目英訳名 : Laboratory work in Imaging Materials I  
 担当教官 : 森田 浩  
 単位数 : 3.0 単位  
 履修登録コード: T1E1, T1E2, T1E3

開講時限等: 2 年後期水曜 3,4,5 限  
 講義室 : 工 情報画像学科 実験室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)				その他 (Z99)

学科 コース	入学年度
T8:画像 A	1995 年 必修専門 II 類 (F12)

[講義目的] 画像材料工学の研究で必要とされる基礎的な実験法と実験技術を 4 つの実験テーマを通して実習する。実験内容とその原理を理解し、実験結果の整理と考察の仕方を習得する。実験内容の理解を深めるため、最終試験を行う。実験テーマ: (1) 写真、(2) 印刷、(3) 有機合成、(4) データ処理: この実験は、次セメスターで行う画像材料工学実験 II の基礎となる。

[講義内容] 実験テーマ: (1) 写真、(2) 印刷、(3) 有機合成、(4) データ処理; 各テーマをそれぞれ 3 週間で行う。実験回数は 1 2 回 (1 2 週) となる。すべての実験が終了した後、その内容についての試験を行う。受講者を 4 班に分け、各班はそれぞれ指定された順番で上記テーマを履修していく。すべてのテーマを受講することが必要である。

[履修条件] 画像材料工学コース以外の学生の受講を認めない。

[教科書・参考書] 各テーマごとのテキストを配布する。

[備考] 実験に適した服装を準備すること。必要携行品: 実験ノート、グラフ用紙、電卓、白衣、タオル

授業科目名 : 画像材料工学実験 II  
 科目英訳名 : Laboratory work in Imaging Materials II  
 担当教官 : 森田 浩  
 単位数 : 3.0 単位  
 履修登録コード: T1E4, T1E5, T1E6  
 開講時限等: 3 年前期水曜 3,4,5 限  
 講義室 : 工 情報画像学科 実験室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)

[講義目的] 画像材料工学実験 I に引き続き、画像材料工学の研究で必要とされる基礎的な実験法と実験技術を 4 つの実験テーマを通して実習する。実験内容とその原理を理解し、実験結果の整理と考察の仕方を習得する。実験内容の理解を深めるため、最終試験を行う。実験テーマ: (5) 光電変換とゼログラフィ、(6) 光の吸収、(7) 光化学、(8) 計算機化学

[講義内容] 実験初日に実験を安全に行うための「実験実習における防災の手引き」をテキストとして器具や薬品の取り扱い法、測定機器の安全な操作法などについて説明する。その後、各実験テーマの内容説明とテキスト配布を行う。実験テーマは 4 つあり、各テーマをそれぞれ 3 週間で行う。実験回数は 12 回 (12 週) となる。すべての実験が終了した後、その内容についての試験を行う。受講者を 4 班に分け、各班はそれぞれ指定された順番で上記テーマを履修していく。すべてのテーマを受講することが必要である。

[履修条件] 画像材料工学コース以外の学生の受講を認めない。

[教科書・参考書] 各テーマごとのテキストを配布する

[備考] 実験に適した服装を準備すること。必要携行品: 実験ノート、グラフ用紙、電卓、白衣、タオル

授業科目名 :  
 科目英訳名 :  
 担当教官 : 森田 浩  
 単位数 : 単位  
 履修登録コード:  
 開講時限等:  
 講義室 :

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 画像材料工学実験 I,II に引き続き、画像材料工学の研究で必要とされる基礎的な実験法と実験技術を習得する。実験内容の理解を深めるため、実験法の講義とセミナーを併せて行う。

[講義内容] 実験初日に実験を安全に行うための「実験実習における防災の手引き」をテキストとして器具や薬品の取り扱い法、測定機器の安全な操作法などについて説明する。その後、各実験テーマの内容説明とテキスト配布を行う。受講者を数班に分け、各班はそれぞれ指定された順番でそれぞれの実験テーマを履修していく。すべてのテーマを受講することが必要である。

[履修条件] 画像材料工学コース以外の学生の受講を認めない。

[教科書・参考書] 各テーマごとのテキストを配布する

[備考] 実験に適した服装を準備すること。必要携行品: 実験ノート、グラフ用紙、電卓、白衣、タオル

授業科目名 : 銀塩感光材料  
 科目英訳名 : Silver Halide Light-Sensitive Material  
 担当教官 : (占部 茂治)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1E7  
 開講時限等: 4 年前期木曜 4 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1995 年
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A 選択専門 II 類 (F35)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 銀塩写真は、百数十年の歴史を持ちながら、現在でも新しい技術が開発されており、その奥の深さと幅の広さには驚くべきものがある。銀塩写真には、固体物理、光科学、結晶学、色彩学、有機化学、表面化学、高分子化学、溶液論、ナノサイズの科学等が含まれ、それらが総合されて写真科学が成り立っている。本講義では、単に銀塩写真の仕組みを解説するだけでなく、これらの学問の原理を通して写真を理解する事を大切にしたい。

[講義内容] 主たる内容: 1. 銀塩写真におけるセンサーであり且つ記憶素子である、ハロゲン化銀粒子に関して、固体物性と結晶の特徴及びその調製法の詳細。2. 光の性質 (物理的性質、色) の理解と写真との関係。各商品の特徴と原理及びその成り立ちの概論。3. 興味深い製造技術の紹介。銀塩写真の歴史と今後の展望 (最近のデジタル技術を考慮して)。講義のなかで、2,3 のケーススタディを提示して、みんなで議論したい。

授業科目名 : 広報媒体論  
 科目英訳名 : Study on Mass Media  
 担当教官 : (柴田 亮介)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1EB  
 開講時限等: 4 年前期月曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1995 年
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		専門選択 (F30)	T8:画像 A 選択専門 II 類 (F35)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 広報・広告を中心としたマスメディアの理論と実際について解説する。

[講義内容] 企業活動としてのコミュニケーション (広報、広告) の現在と、マルチメディア化の中で変革の時代を迎えようとしているマスメディアの理論と実際について、できるだけビジネス現場の事例に則して講義をすすめる。映像研究の一環として、毎回国内外の TVCM をテーマ別に上映する。

授業科目名 : 印刷材料学  
 科目英訳名 : Printing Materials - Paper Science  
 担当教官 : (磯貝 明)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1EC  
 開講時限等: 3 年前期木曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[講義目的] 印刷、プリンターに用いられる材料のうち、特に印刷適性、画像再現に大きな影響を与える印刷用紙について基礎から応用まで解説する。

[講義内容] 印刷材料としての紙・パルプの製造法・特性と其の基礎に関する科学 (木材成分の化学・高分子化学・界面物理化学) を全般的に解説する。

[教科書・参考書] 「紙の化学」(門屋卓 他著、中外産業調査会 1977)、「パルプおよび紙」(大江礼三郎 他著、文永堂出版 1997)、「コロイド科学の基礎」(Everett 著 化学同人 1993)

授業科目名 : 工業英語演習  
 科目英訳名 : Aspects of Technical English  
 担当教官 : (Yuen, Michael)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1ED

開講時限等: 2年後期金曜 5 限  
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	必修専門 I 類 (F11)	選択必修専門 II 類 (F27)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)	TB:情報 B		専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)			

[講義目的] 国際化が一段と促進される今後、技術者として国内外の技術資料、情報を的確に入手し、理解、応用してゆかねばならない。一方開発した技術、情報を世界に向けて発信してゆく必要がある。閉ざされた社会でなく国際的に活動の場を求めたときに、共通の話題に関し議論してゆく必要もある。このような状況を考慮して、使える語学、実践のための英語力の養成を中心に演習を行う。技術的内容を盛り込んだテキストはその都度プリントで配付され、授業は英語で行われる。

[講義内容] In this course, students will be expected to complete a set number of assignments working individually and in groups. All assignments will be in English and must be completed in order to pass. There will be a strong emphasis on writing clearly and logically.

[履修条件] 特に指定しないが、1、2 セメスターで行われる外国語科目の単位を取得し、HEARING, SPEAKING についての基礎力があること。

授業科目名 : 基礎有機化学  
 科目英訳名 : Fundamental Organic Chemistry  
 担当教官 : (岩田 正彰)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1EE

開講時限等: 2年後期月曜 2 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)

  

学科 コース	入学年度		
	1997年	1996年	1995年
T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)

[講義目的] 機能分子の創製に不可欠な有機化学の基本的事項を「基礎化学 B」を継承して講義する。「基礎有機化学」では、多くの基本的な官能基について、構造・命名法・製造・反応性を学びつつ、構造と物性や反応性の強い相関性が理解できるであろう。

[講義内容] 第 1 回、有機化合物と有機化学第 2 回、原子の構造第 3 回、分子の形成第 4 回、化合物の種類と命名法第 5 回、命名演習、アルケン第 6 回、アルケンの反応性第 7 回、アルキン、芳香族化合物 1 第 8 回、芳香族化合物 2 第 9 回、立体化学、ハロゲン化アルキル第 10 回、アルコール、フェノール、エーテル第 11 回、カルボニル化合物第 12 回、カルボン酸とカルボン酸誘導体第 13 回、アミン第 14 回、生命科学第 15 回、テスト

[履修条件] 基礎化学 B の履修者

[教科書・参考書] 「有機化学概説 (第 3 版)」 John McMurry 著: 伊藤・児玉 訳 (東京化学同人) (1996).

授業科目名 : メディアアート  
 科目英訳名 : Media Art  
 担当教官 : (串山 久美子)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1EF

開講時限等: 3 年後期水曜 3 限  
 講義室 : 総 A51

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 情報ハイウェイ、マルチメディア時代に適応する映像クリエイターとして、現代映像現場の諸技術を総合的に理解させ、その知性と感性を磨き、新しい 21 世紀をになう映像作家を育てるような内容。

[講義内容] (記述なし)

[教科書・参考書] 「映画撮影技術ハンドブック」(写真工業出版社); 「新ビデオ技術マニュアル」(写真工業出版社)

授業科目名 : 符号理論  
 科目英訳名 : Coding Theory  
 担当教官 : 須鎗 弘樹  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F0

開講時限等: 3 年後期火曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択専門 II 類 (F35)		

[講義目的] 様々な符号の構成法を修得することを目的とする。具体的には、誤り訂正符号の基本的な概念・符号の代数構造の理解に始まり、線形符号、巡回符号、BCH 符号・リード・ソロモン符号などの代数的符号、畳み込み符号などについて詳述する。

[講義内容] 誤り検出訂正の原理(誤りと符号の種類・ハミング距離・最小距離)線形符号(パリティ符号・ハミング符号・パリティ検査行列・生成行列・シンドローム)ガロア体(ガロア体・ガロア拡大体・共役元・最小多項式)巡回符号(巡回パリティ符号・符号多項式・生成多項式・検査多項式)代数的符号(BCH 符号・BCH 限界・BCH 符号の復号法・RS 符号・RS 符号の復号法)畳み込み符号(木符号・トレリス符号化・最尤復号法・ビタビ復号法)

[履修条件] 情報理論を修得していることが望ましい。

[教科書・参考書] 掲示により指示する。

[備考] 中間試験と期末試験の合計で成績を評価する。

授業科目名 : 生体情報システム論  
 科目英訳名 : Biological Information System  
 担当教官 : 松葉 育雄  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F1  
 開講時限等: 3 年後期水曜 4 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B		専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 生体は情報処理を行う理想的なコンピュータである。視覚のセンサ系から始め、脳神経システムにおける情報処理の様式について理解し、さらに工学的応用として、脳の神経回路を模擬したニューラルネットワークなどについて講義する。

[講義内容] 脳とコンピュータ、生体システムでの情報処理の基本、感覚システムとしての視覚、特に網膜、視覚野の働き、側抑制など視覚システムの情報処理方式の特徴、マッハ効果、放電系列の情報量と脳の記憶容量、中枢神経システムの神経構成、システム理論と脳理論、情報理論と神経回路網の統計、興奮性結合の回路網と抑制結合をもつ回路網、論理ニューロンと論理回路、ニューラルネットワークの情報処理の特徴、連想記憶、記憶容量の統計計算、学習機械とパーセプトロン、神経回路網を利用した最適解の探索、生体情報システム論の工学応用事例

[備考] 試験とレポートによって評価

授業科目名 : 工業システム概論  
 科目英訳名 : Industrial System Engineering  
 担当教官 : (田原 紘一)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F2  
 開講時限等: 3,4 年前期木曜 5 限  
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 本講義の目的は企業の生産活動および製造業での制御システムがどのように構成されているかの知識を得、大学で学んだ知識、技術がどのように役立てられるか理解することにある。会社の組織、損益管理、商品企画などがどのように行われるかなどの企業の仕組みに関する知識を習得し、さらにいくつかの業種について例を参考にしながら情報の処理、生産管理、計測制御などのシステムの仕組みや装置を理解する。

[講義内容] 経営管理、生産管理システム、かんばん方式、MRP システム、会社の種類、法人化のメリット、製品企画、設計、価格設定(売上げと経費)、損益管理、製鉄業の紹介と生産管理などのシステム、自動車、電機、化学、半導体、食品などの産業における様々なシステム、ならびに計測技術の応用例、種々のセンサー、光学基礎、画像処理、アクチュエーター・油圧・空圧機器、PID 制御、デジタル制御

[履修条件] なし

[教科書・参考書] 毎回配布

[備考] 最後に工場見学会を実施(希望者のみ)試験とレポートによって評価



授業科目名 : 印刷工学  
 科目英訳名 : Graphic Technology  
 担当教官 : 甘利 武司  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F3  
 開講時限等: 3 年前期金曜 3 限  
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	選択必修 C 群 (F2B)	専門選択 (F30)
TH5:情報画像 A 画像材料工学				選択必修 B 群 (F2A)	
TH6:情報画像 A 画像システム工学				選択必修 C 群 (F2B)	

  

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T8:画像 A	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)	選択必修専門 II 類 (F27)
TD:画像 B	選択必修専門 II 類 (F27)			

[講義目的] 印刷技術は情報伝達にとって基本的且つ重要なテクノロジーである。ともすれば古いイメージでとらえられがちな「印刷」について分かりやすく先端技術と関係付け解説する。情報画像系の学生にとって印刷に関する必須の事項を講義して関連した専門科目への動機づけ、橋渡しを行う。

[講義内容] 印刷技術の体系を概説した後、印刷における伝統的な 4 版方式、デジタル印刷技術、プリンター技術等を取上げる。特に材料のダイナミックな特性と印刷適性との関係を基礎科学に基づき解説する。画像技術者として必要最低限の印刷工学の基礎、印刷産業の実態、技術動向に力点を置いて解説する。

[履修条件] 画像概論をはじめ、3 セメスターまでの専門科目 (必修) の単位をすべてとっていることが望ましい。

[教科書・参考書] 画像概論 I, 画像工学概論 II, 色材物性工学 (丸善)

授業科目名 : マルチメディア概論  
 科目英訳名 : Introduction to Multi-media  
 担当教官 : (深見 拓史)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1F4  
 開講時限等: 3 年後期集中  
 講義室 : 工 1 号棟 5 階 501 情報工学演習室 (1)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TK:先進科学プログラム			専門基礎必修 (E10)							

[講義目的] コンピュータによるデジタル情報処理について理解を深めるために講義する。マルチメディアの構成要素である文字・画像・図形・映像・音声についてそれぞれのデジタル化とは何か? その方法は? データ量の相違は? など、基礎概念と周辺技術について講義する。最近のマルチメディア周辺技術は進歩が早いのでインターネットによる実体験を通じて、現実社会での動きを講義する。

[講義内容] 構成要素である文字・画像・図形・映像・音声について、そのデジタル化について講義する。文字の符号化については JIS 規格やフォント形成方法、フルカラー画像データのデジタル化と JPEG、GIF 形式などの各種可逆・非可逆圧縮方法、映像のデジタル化と MPEG 圧縮方法などを講義する。また視覚特性と聴覚特性を用いた映像・音声の圧縮についても触れる。教室内のパソコンをフル活用しインターネットホームページでグループ学習や自習方式による講義形式を取り入れる。

[履修条件] 講義対話方式のほか、パソコンによるグループ学習・自習方式。講義内容に沿ってレポート提出。

[教科書・参考書] 「爆発するインターネット」安田浩編著、「マルチメディア - ビギナーズテキスト」松本紳著、「マルチメディア技術」原島博編著、「デジタル画像処理入門」磯博著など

授業科目名 : 情報基礎英語  
 科目英訳名 : Basic English in Information Science  
 担当教官 : ( 樫山 雄二 )  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1FA  
 開講時限等: 3 年後期金曜 3 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] ネットワーク時代を迎え、情報英語は日常的に使用されている。本講義では、情報工学に必要な英語の実践的な力を身に付けることを目的にする。さまざまな素材を用いて多様な英語表現を示すとともに、演習等を交えながら講義を行う。

[講義内容] 科学と英語 / 一般英語と科学英語の違い、原著を英文で読むには / 単語力をつけよう、英文科学論文の構成を調べてみよう、英文で科学論文を書いてみよう、英語でインターネットネット（英文で e-mail を書く、ホームページの英語を読む、英語で検索する）、HARDWARE マニュアルの英語、SOFTWARE マニュアルの英語、UNIX コマンドマニュアルの英語、英文の専門書を読んでみよう、専門書を英文に訳してみよう

[備考] 演習、試験によって評価する。

授業科目名 : 計算機工学セミナー  
 科目英訳名 : Computer-Application s Seminar  
 担当教官 : (原川 哲美)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1FB  
 開講時限等: 3 年後期月曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B		専門選択 (F30)		
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[講義目的] 自動車、家電製品に見られるように、計算機（マイクロプロセッサ等）を駆使したリアルタイム制御システムがあらゆる分野で使われており、そのシステムの性能が大きな価値を生み出している。本講義では、制御システムの基礎であるダイナミックシステムの表現、時間応答と周波数応答、安定判別法、根軌跡法等を学習し、制御システムの設計法を学ぶ。更に近年注目されているロバスト制御に関連する話題を紹介する。

[講義内容] 古典制御理論と応用事例としてブロック図の表現、安定判別法、時間応答と周波数応答、根軌跡法、制御系設計、極配置（SISO）ロバスト性判別、例題として ハードディスクのヘッドの位置制御を取り上げる。

[備考] 試験、レポート、出席により評価する。

授業科目名 : 情報知的所有権セミナー  
 科目英訳名 : Intellectual Property Rights Seminar  
 担当教官 : (木崎 邦彦)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1FC, T1FD  
 開講時限等: 3 年前期月曜 3,4 限隔週 1,3  
 講義室 : 工 5 号棟 105 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T4:情報 A		専門選択 (F30)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[講義目的] 高度情報化社会の昨今、ソフトウェアや知的所産物の価値は益々重要になって来ており、企業戦略も知的所有権問題を抜きにしては語れない。本講義では、特許や著作権等の知的所有権の基礎を解説し、併せて、特許侵害事件や企業の特許戦略について講師の長年の体験を語る。これを通して、工学部情報分野に携わる諸学生に知的所有権の重要性を認識してもらおうと共に知的所有権の基礎を理解してもらおう。

[講義内容] 著作権、不正競争を含む知的所有権の概説、特許法の基礎（日本の特許制度、出願の審査、審判、特許権の性質等）、発明の捉え方（有効発明に仕立てる法）、特許侵害事件、インターネット上の知的所有権問題、企業における特許戦略、等々について事例、演習、体験を交え講義する。

[教科書・参考書] ・「工業所有権標準テキスト（特許編）」（社）発明協会 ・講師作成の資料を配布。

[備考] 期末試験で評価する。2000 年度入学生「計算機科学セミナー」の読み替え科目である。

授業科目名 : 情報通信ネットワーク  
 科目英訳名 : Communication Systems  
 担当教官 : 呂 建明  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1FF  
 開講時限等: 3 年前期金曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	その他 (Z99)	その他 (Z99)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[講義目的] 各種通信方式を取り上げ、それぞれが実際にどのように使われているかを学習する。また、高度情報化社会への大きな流れの中で、通信システムと社会との関わりについて学ぶ。さらに、情報通信ネットワークは社会のインフラストラクチャ（基盤施設）として重要な役割となることを理解することを目標とする。

[講義内容] 情報通信ネットワークは、古くから電話を中心として発展してきた。本講義では、まず日本の電話網を例にとり、ネットワークアーキテクチャの基本的要件について説明し、従来の電話交換で用いられた信号方式から OSI モデルへの変遷について講義する。また、プロトコルの基本技術、新サービス用として必須な共通線信号方式、デジタル形のデータ交換、電話交換、ISDN、高度電話サービス、ファクシミリ、ビデオテックス等のネットワーク及び IN の動向、LAN の標準化と応用例、無線通信などを説明する。

[教科書・参考書] 通信ネットワーク、荒谷孝夫 著、東京電機大学出版社・通信技術、正田英介 監修、オーム社・情報通信ネットワーク、遠藤靖典 著、コロナ社。

[備考] 出席、レポートと試験で評価する。

授業科目名 : 計算図学  
 科目英訳名 : Computational Descriptive Geometry  
 担当教官 : 大沼 一彦  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T200  
 開講時限等: 3 年前期月曜 2 限  
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH:情報画像 A	専門選択必修 (F20)					T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 B 群 (F2A)	選択必修 B 群 (F2A)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 C 群 (F2B)	選択必修 C 群 (F2B)					

[講義目的] CAD,CAM,CG において 2 次元、3 次元図形を数学的にとらえ、表現するための方法を講義する。  
 [講義内容] 1. 2 次元の図形処理のための直線、曲線、また自由曲線のスプライン曲線、ベジェ曲線、B-スプライン曲線等について、(6 回) 2. 3 次元空間での 3 次曲線、自由曲面について、(3 回) 3. 3 次元空間での座標変換、(2 回) 4. 形状モデリング、(1 回) 5. 物体と光の関係 (3 回) である。  
 [履修条件] 線形代数、微積分、ベクトルについて学習してあること。  
 [教科書・参考書] 1. CAD / CAM / CG のための形状処理工学入門 (嘉数、古川共著、森北出版) 2. 情報数学セミナー、グラフィックス (大石進一、牧野光則著 日本評論社)  
 [備考] 成績はレポートと最終回の試験の点数で決める。

授業科目名 : 画像制作実習  
 科目英訳名 : Practical training of picture making  
 担当教官 : (三橋 純)  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1FE  
 開講時限等: 3 年前期土曜 3,4,5 限集中  
 講義室 : 工 17 号棟 特別教室 (都市環境)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				専門選択 (F30)	
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

  

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)

[講義目的] 写真の基礎的な昨日や制作プロセスを学びながら、実際の写真の社会的機能や効用を学習する。受講者は写真に興味のあるが好ましく、カメラを持っていない者でも映像制作に興味のある者を対象とする。  
 [講義内容] ・ 自己紹介と講義内容説明 「写真の社会的機能」の話 カメラの機能・フィルムの種類 交換レンズ: レンズの違いと効果 写真の原理 (白黒写真の作り方)  
 \* \* \* ・ 白黒フィルム現像: プロセス ・ フィルムリー  
 ルの巻き方 ・ 印画紙プリント: 印画紙の種類とプロセス ・ モノクロ写真  
 白黒フィルム撮影 (学内ロケ) \* \* \*  
 白黒フィルム現像/現像・停止・定着の実習 白黒フィルム撮影 (フィルム乾燥中) 「写真表現の歴史」 ・ 暗室テクニク 印  
 画制作実習 印画紙プリント (ベタ焼き) セレクト  
 8\*10 プリント・ 大型カメラの実習 : 物の質感と撮影テクニク スタジ  
 オ撮影とライティング (ボジカラー撮影) デイライトとタングステン (色温度)・  
 ボジ鑑賞批評 : 反省と失敗点 印画紙プリント実習 (乾燥)  
 (予備) 「映像の歴史」もしくは「デジタル写真の現在」

[履修条件] なし

授業科目名 : インターンシップ  
 科目英訳名 : Practical Training in Factory  
 担当教官 : 小寺 宏暉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1C8

開講時限等: 3 年後期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A			実験実習 (F28)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)		

[講義目的] 情報画像工学の産業界において、実習を通して、情報画像工学の最先端技術を体得する。

[講義内容] 情報画像工学に関する産業のいくつかの研究所、工場等で実習を行い、報告書を作成する。

授業科目名 : 学外演習  
 科目英訳名 : Field Seminar  
 担当教官 : 小寺 宏暉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1C7

開講時限等: 3 年後期集中  
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度	
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		T8:画像 A	選択専門 II 類 (F35)	選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] 画像工学に関する産業のいくつかの工場等を見学し、報告書を作成する。

[講義内容] (記述なし)

授業科目名 : 情報画像産業汎論 (学部・放送大学開放科目)  
 科目英訳名 : Introduction to Information and Imaging Industry  
 担当教官 : 小寺 宏暉  
 単位数 : 2.0 単位  
 履修登録コード: T1C9

開講時限等: 3 年後期木曜 5 限  
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度		
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T8:画像 A			選択専門 II 類 (F35)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[講義目的] 情報画像産業界における最新の技術動向を広く理解する。

[講義内容] 情報画像産業界で話題となっている最新技術や最新システムなどに関するトピックスを、講義一回にまとめて毎回紹介し、解説を加える。

授業科目名 : 卒業研究 I  
 科目英訳名 : Undergraduation Thesis Study I  
 担当教官 : 矢口 博久, 森田 浩  
 単位数 : 4.0 単位  
 履修登録コード: T1D0

開講時限等: 3 年後期月曜 3,4,5 限  
 講義室 : 各研究室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 B 群 (F14)	専門必修 B 群 (F14)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 C 群 (F15)	専門必修 C 群 (F15)

[講義目的] 画像材料工学コース、画像システム工学コースにおける最も重要な科目のひとつと位置付けられ、実践的な力量、研究的な力量の両面を総合的に向上させることを目指す。各コース所属の学生全員に課せられ、基礎的な研究の手法や考え方を実践的・主体的に行う。「卒業研究」へ進む学生には履修のための導入的リサーチも行う。

[講義内容] 各研究室を中心に主体的な実験や文献調査などによる最初の研究活動を行い、研究の報告など基本的なプレゼンテーションも行う。

[履修条件] 画像材料工学コース、画像システム工学コースに進学したものは全員が履修する。普遍教育科目の未修得単位数の合計が 10 単位以下であること。専門基礎科目の未修得単位数の合計が 8 単位以下であること。余剰単位をのぞき合計 86 単位以上履修していること。画像材料工学実験 I,II, または画像システム工学実験 I,II を履修していること。

[備考] 研究分野への配属についてはガイダンス等で指示する。

授業科目名 : 卒業研究 (情報画像・情報コース 98T)  
 科目英訳名 : Undergraduation Thesis Study  
 担当教官 : 情報画像工学科各教官  
 単位数 : 6.0 単位  
 履修登録コード: T1AA

開講時限等: 4 年通期集中  
 講義室 : 各研究室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	専門必修 (F10)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
						T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	
						TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 情報画像工学科各コースにおける最も重要な科目と位置付けられ、実践的な力量、研究的な力量の両面を総合的に向上させることを目指す。

[講義内容] 各学生は研究室に所属し、ある一つのテーマについて研究を行う。研究においては、各教官から個別に指導を受ける。最終的に卒業研究発表会を行い、個別に評価が行われる。

[履修条件] 各コースと入学年次で異なるので、履修課程で確認すること。

[備考] 研究実施内容、論文、発表により評価する。情報コース 1998 年度入学学生用科目。旧情報工学科の卒業論文の読み替え科目でもある。

授業科目名 : 卒業研究  
 科目英訳名 : Undergraduation Thesis Study  
 担当教官 : 情報画像工学科各教官  
 単位数 : 8.0 単位  
 履修登録コード: T1AB

開講時限等: 4 年通期集中  
 講義室 : 各研究室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TH1:情報画像 A 情報工学	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	その他 (Z99)	T4:情報 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	その他 (Z99)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門必修 (F10)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	卒業研究 (F2C)	卒業研究 (F2C)	T8:画像 A	必修専門 II 類 (F12)	必修専門 II 類 (F12)	必修専門 II 類 (F12)	専門必修 (F10)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門必修 (F10)	卒業研究 (F2C)	卒業研究 (F2C)	卒業研究 (F2C)	卒業研究 (F2C)	TB:情報 B	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	
						TD:画像 B	必修専門 II 類 (F12)			

[講義目的] 情報画像工学科各コースにおける最も重要な科目と位置付けられ、実践的な力量、研究的な力量の両面を総合的に向上させることを目指す。

[講義内容] 各学生は研究室に所属し、ある一つのテーマについて研究を行う。研究においては、各教官から個別に指導を受ける。最終的に卒業研究発表会を行い、個別に評価が行われる。

[履修条件] 各コースと入学年次で異なるので、履修課程で確認すること。

[備考] 研究実施内容、論文、発表により評価する。旧情報工学科、情報コース 1998 年度入学学生は 6 単位の TH041001 のほうを履修登録すること。この科目は画像システム、画像材料コースの卒業研究 II の読み替え科目でもある。